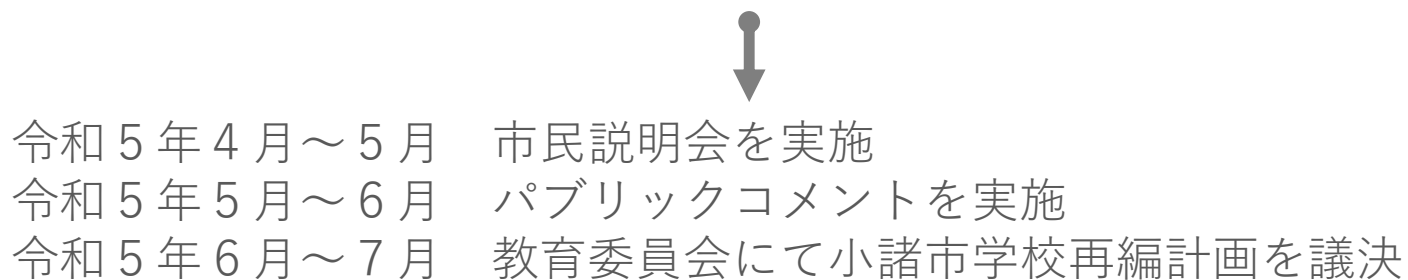


# SCHEDULE

日程	項目	内容
9月29日～10月25日	第1回～第3回懇話会	勉強会
11月10日(木)	第4回懇話会	小諸市学校再編計画(案)提示
11月24日(木)AM 11月25日(金)PM	視察1	芦原中学校、水明小学校視察
12月14日(水)	視察2(第5回懇話会)	先進地視察
1月10日(火)	第6回懇話会	意見聴取
2月14日(火)	第7回懇話会	小諸市学校再編計画(案)提示検討
3月24日(金)	第8回懇話会	小諸市学校再編計画(案)提示検討



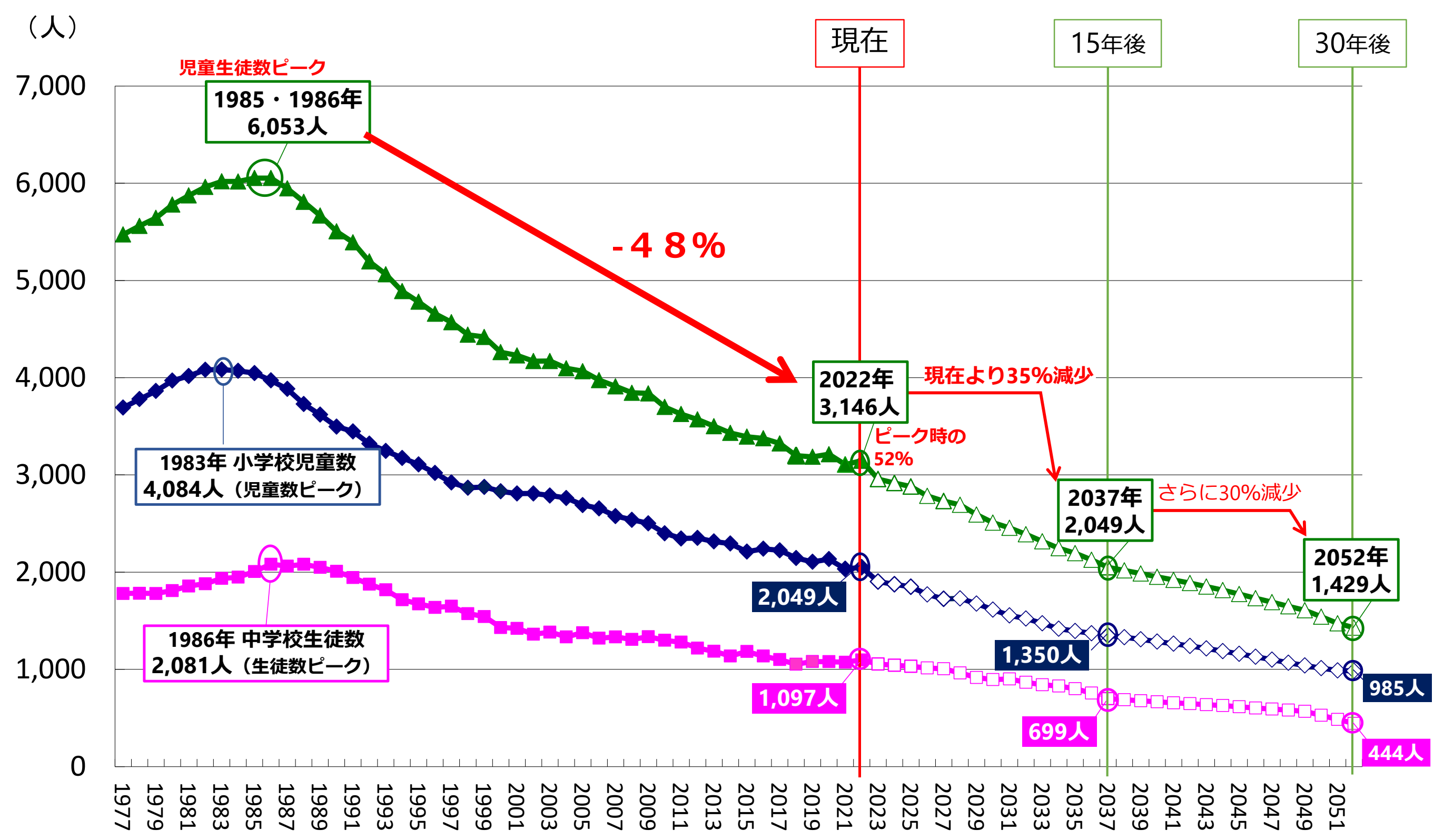
計画に沿った小諸市全体の学校運営

統合小学校の開校準備

# 小諸市学校再編計画について

～ 将来推計から今後の方向性 ～

# 1 児童生徒数の推移と将来予測【市全体】



(出典) 2022年まで：実数（特別支援学級含む）、2023年～：将来推計

※将来推計  
 国土交通省国土技術政策総合研究所「小地域（町丁・字）を単位とした将来人口・世帯予測ツール」を基に、町丁別・5歳階級別の人口推計を行い、町丁と学区の関係を整理して児童生徒数を推計した。

- 市全体の児童生徒数は、1985・1986年に6,053人をピークに減少傾向で推移し、2022年時点で3,146人となっています。今後、15年後の2037年には2,049人で現在より35%減少予測、30年後の2052年には1,429人でさらに30%減少予測となっています。
- 児童数は、1983年に4,084人をピークに減少しており、2022年時点で2,049人となっています。
- 生徒数は、1986年2,081人をピークに減少しており、2022年時点で1,097人となっています。

# 2 中学校区別 児童生徒数・学級数の変化、教職員構成

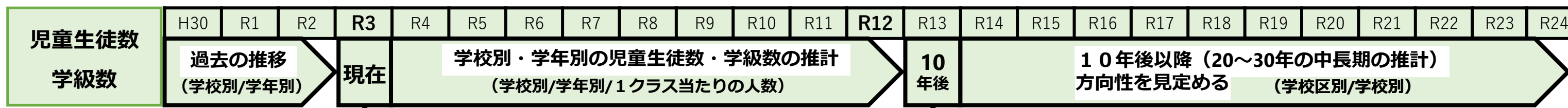
## 小諸東中学校区

小諸市の望ましい規模

- ・1学級の児童数が20～30人前後
- ・1学年の学級数が少なくとも2～3学級

⇒ 学校全体で「240人～540人」「12学級～18学級」

1 詳細な将来推計の実施



● 学校別 児童生徒数（特別支援含む）、通常学級数

		過去の推移 (学校別/学年別)			現在												10年後	10年後以降 (20～30年の中期の推計) 方向性を見定める (学校区別/学校別)											
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	
<b>&lt;小学校&gt;</b>																													
東小学校	児童数 (人)	415	420	429	437	429	417	411	416	406	394	381	364	354	327	309	283	279	275	270	266	262	258	253	248	244	237	229	
	クラス数 (学級)	14	14	15	15	15	14	14	15	14	14	14	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	
	1クラスあたり人数	30	30	29	29	29	30	29	28	29	28	27	26	25	25	24	24	23	23	23	22	22	22	21	21	20	20	21	
野岸小学校	児童数 (人)	298	288	270	284	278	267	265	251	244	215	207	205	200	205	208	218	214	210	206	202	198	194	190	186	182	178	175	
	クラス数 (学級)	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	9	10	10	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6		
	1クラスあたり人数	25	24	23	24	23	22	22	23	24	24	23	23	22	21	21	22	24	26	29	34	33	32	32	31	30	30	29	
美南ガ丘小学校	児童数 (人)	607	604	626	615	588	570	583	584	562	569	561	549	521	494	472	445	437	429	421	414	406	398	390	382	374	366	359	
	クラス数 (学級)	20	20	20	20	20	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12		
	1クラスあたり人数	30	30	31	31	29	30	31	31	31	32	31	31	29	27	26	25	26	27	28	30	31	33	33	32	31	31	30	
<b>3校合計 児童数 (人)</b>		1,320	1,312	1,325	1,336	1,295	1,254	1,259	1,251	1,212	1,178	1,149	1,063	1,075	1,026	989	946	930	914	897	882	866	850	833	816	800	781	763	
<b>3校合計 学級数 (学級)</b>		46	46	47	47	47	45	45	45	42	41	41	41	41	41	41	40	38	36	34	32	31	30	30	30	30	30	29	
<b>&lt;中学校&gt;</b>																													
小諸東中学校	生徒数 (人)	634	652	647	682	680	676	649	634	630	657	629	595	571	585	571	554	500	462	425	417	410	402	397	390	383	376	369	
	クラス数 (学級)	20	20	21	20	21	21	20	20	20	21	20	19	18	18	18	18	17	16	14	13	12	12	12	12	12	12	12	
	1クラスあたり人数	32	33	31	34	32	32	32	32	32	31	31	31	32	33	32	31	29	29	30	32	34	33	33	33	32	31	31	

① 4年後には、小学校1校が小規模校

② 16年後、小学校1校で全学年が単式学級

③ 23年後、小学校2校が小規模校化

2 児童生徒数・学級数の変化

審議会立ち上げ 検討開始

3 教職員構成

再編完了

現在	小諸東中	東小	野岸小	美南ガ丘小
校長	1	1	1	1
教頭	1	1	1	1
担任	32	15	12	20
特支学級	5	2	2	6
専科	-	2	3	2
養護、事務	4	2	2	2
その他	2	1	1	3
非常勤	3	2	0	2
県費・計	48	26	22	37
栄養、調理	2	2	1	1
事務、用務	2	2	2	2
司書	1	1	1	1
調理	7	5	4	7
支援、ALT	4	6	5	7
市費・計	16	16	13	18
合計	64	42	35	55

**この10年で行うべきこと**

- ・ プールの共用化
- ・ コミュニティスクール
- ・ 他の公共施設との複合化・共用化等

(20年後の再編を見据えて)

10年後	小諸東中	東小	野岸小	美南ガ丘小
校長	1	1	1	1
教頭	1	1	1	1
担任	29	13	10	18
特支学級	5	2	3	6
専科	-	2	2	2
養護、事務	3	2	2	2
その他	2	1	0	3
非常勤	3	0	0	2
県費・計	44	22	19	35
栄養、調理	2	2	3	1
事務、用務	2	2	2	2
司書	1	1	1	1
調理	7	4	2	6
支援、ALT	4	5	3	7
市費・計	16	14	11	17
合計	60	36	30	52

23年後	小諸東中	東小	野岸小	美南ガ丘小
校長	1	1	1	1
教頭	1	1	1	1
担任	19	10	6	12
特支学級	5	2	1	3
専科	-	2	1	3
養護、事務	2	2	1	2
その他	2	1	1	2
非常勤	1	0	0	2
県費・計	31	19	12	26
栄養、調理	1	2	3	3
事務、用務	2	2	1	2
司書	1	1	1	1
調理	5	3	1	4
支援、ALT	4	5	3	6
市費・計	13	13	9	16
合計	44	32	21	42

※ R3年度までは実数、R4年度以降はR3年度実績値に基づく将来推計結果。R4年度実績に基づく推計でも大きな傾向は変わらないため、これ以降は方向性を整理した昨年度「学校再編計画検討協議会」時点の数値をベース資料とする。

# 3 中学校区別 児童生徒数・学級数の変化、教職員構成

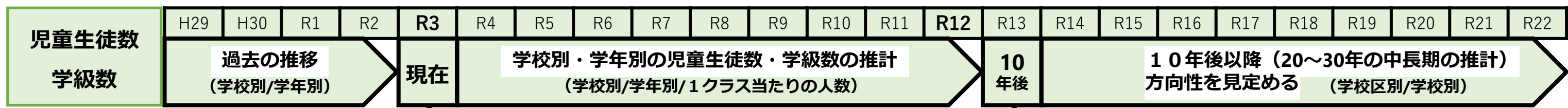
芦原中学校区

小諸市の  
望ましい規模

- 1学級の児童数が20~30人前後
- 1学年の学級数が少なくとも2~3学級

⇒ 学校全体で「240人~540人」「12学級~18学級」

1 詳細な将来推計の実施



● 学校別児童生徒数 (特別支援含む) 通常学級数

① 現在、すでに全学年1クラスの学校が1校

② 来年には、小学校3校とも小規模校 (300人以下)

R8年には、3校あわせてやっと『望ましい規模』

③ 10年後には、全学年1クラスが2校になる → 教員確保等の対応が難しい

④ R19年には、3校とも、全学年1クラスに → 運営ができない【非常に非効率】

2 児童生徒数・学級数の変化

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	10年後	R13	R14	R15	R16	R17	R18	20年後	R19	R20	R21	R22		
<b>&lt;小学校&gt;</b>																													
坂の上小学校	児童数 (人)	330	331	313	307	290	288	291	269	260	248	239	223	207	202	198	199	201	200	198	196	195	194	192	190				
	クラス数 (学級)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
	1クラス当たり人数	28	28	26	26	24	24	24	22	22	23	24	25	26	29	33	33	34	33	33	33	33	33	32	32	32	32		
水明小学校	児童数 (人)	354	352	340	339	325	300	283	262	257	247	230	233	228	223	215	215	216	212	208	205	201	198	195	191				
	クラス数 (学級)	12	12	12	12	12	11	11	11	11	10	9	10	10	10	10	10	10	9	8	7	6	6	6	6	6			
	1クラス当たり人数	30	29	28	28	27	27	26	24	23	25	26	23	23	22	22	22	22	24	26	29	34	33	33	32	32			
千曲小学校	児童数 (人)	97	88	87	97	90	88	83	91	88	72	76	73	76	71	71	76	76	75	74	73	72	72	72	71				
	クラス数 (学級)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
	1クラス当たり人数	16	15	15	16	15	15	14	15	15	12	13	12	13	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12			
<b>3校合計</b>	児童数 (人)	781	771	740	743	705	676	657	622	605	567	545	529	511	496	484	490	493	487	480	474	468	464	459	452				
<b>3校合計</b>	学級数 (学級)	24	24	24	24	24	24	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18			
<b>&lt;中学校&gt;</b>																													
芦原中学校	生徒数 (人)	394	384	388	373	410	414	419	408	389	375	335	318	295	308	297	276	263	267	290	286	282	278	274	270				
	クラス数 (学級)	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	11	10	9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
	1クラス当たり人数	33	32	32	31	32	32	32	34	32	31	30	32	33	31	30	28	29	30	32	32	31	31	30	30	30			

3校統合して『望ましい規模』を確保できる

※ 見直し (再編・再配置) が必要

3 教職員構成

		現在	芦原中	坂の上小	水明小	千曲小	10年後	芦原中	坂の上小	水明小	千曲小	17~20年後	芦原中	坂の上小	水明小	千曲小
県負担	校長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	教頭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	担任	23	12	12	6	20	6	10	6	18	6	6	18	6	6	6
	特支学級	0	3	3	1	0	1	3	1	0	1	1	0	1	1	1
	専科	-	3	3	1	-	1	2	1	-	1	1	1	1	1	1
	養護、事務	2	2	2	1	2	1	2	1	2	1	2	2	1	1	1
	その他	4	2	2	1	4	1	0	1	4	1	1	4	1	1	1
	非常勤	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県費・計	31	26	24	12	28	12	19	12	26	12	12	26	12	12	12
	市負担	栄養、調理	1	3	3	3	1	3	3	3	1	3	3	1	3	3
事務、用務		2	2	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	
司書		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
調理		5	4	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	
支援、ALT		5	6	5	3	5	3	3	3	5	3	3	5	3	3	
市費・計		14	16	14	9	11	9	11	9	11	9	9	11	9	9	
合計		45	42	38	21	39	21	30	21	37	21	21	37	21	21	

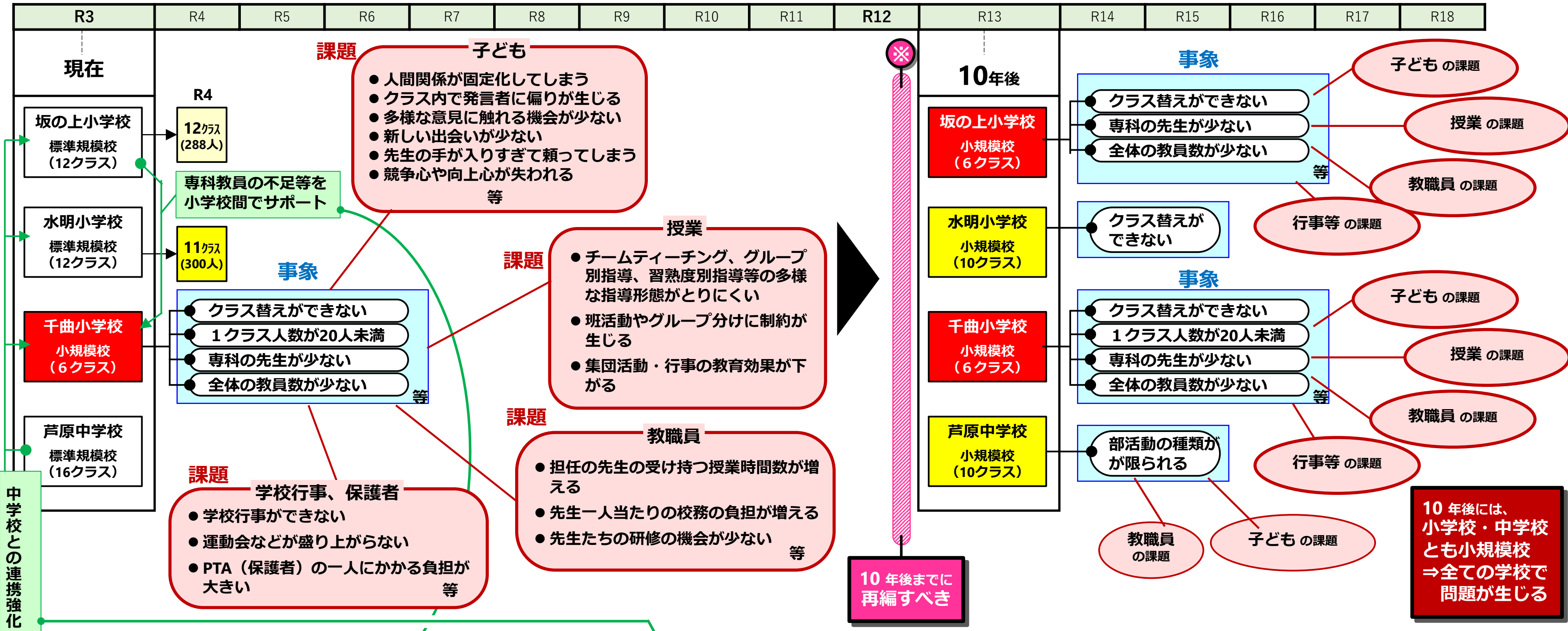
⑤ 配置されない専科は、担任が担当  
5学級になると専科が『0人』になってしまう

が教員の負担が増加

⑥ 小学校2校が、全学年1クラスになる前に、再編する必要あり

10年後には、専科が1教科しか配置できない学校が2校に → 教員確保等の対応が難しい

# 4 現状を今後も維持していく場合の課題と再編までに今後行うべき対応



### ① 遠隔授業の実施

離れた2つの学校で同時双方向コミュニケーションを取りながら学習を進める

「例：坂の上小」

クラス担任

児童が自分の意見を端末機器（タブレット）に入力

「例：千曲小」

先生

児童に対して、ICT機器の操作や学習等をサポートする補助員が付き、授業を進める。

インターネット

画面を共有

生徒一人一人の意見がスクリーンに表示

児童35人+教員がICT機器を活用して場所の離れた学校と遠隔でつながる。

### ② 中学校と各小学校との連携強化

- 児童生徒のつながりの場・機会をつくる
- 中学校専科教員の授業を小学生が受講

小諸東中学校区との連携

中学校専科教員の授業を小学生が受講

合同で清掃活動

小中合同で児童会・生徒会活動

- 小学生が、中学校教員から専科の授業を受け、中学校の授業をイメージしやすくなる。
- 小学校から中学校へスムーズに移行できるよう、それぞれの教職員が連携

### ③ 家庭：学んだ内容の定着を図る自学自習

芦原中学校区

小諸東中学校区

- 家庭に端末機器（タブレット）を持ち帰り、自宅で自学自習へつなげるため、つまづきを克服しながら学んだ内容の定着を図ることができる。
- 教員が、端末機器（タブレット）内に管理された学習履歴を確認し、子どもの学習状況を把握できる。（タブレット・ノートパソコンの導入はすでに実施）

### ④ カリキュラムの統一

芦原中学校区 小諸東中学校区

- 2中学校区間でのカリキュラムの統一を図る。

### ⑤ プールの共用化の実践

- 地元のスポーツ施設との連携
- プールの共用化

小諸東中学校区

民間のスポーツクラブ（ブルーマリンスポーツクラブ株式会社）

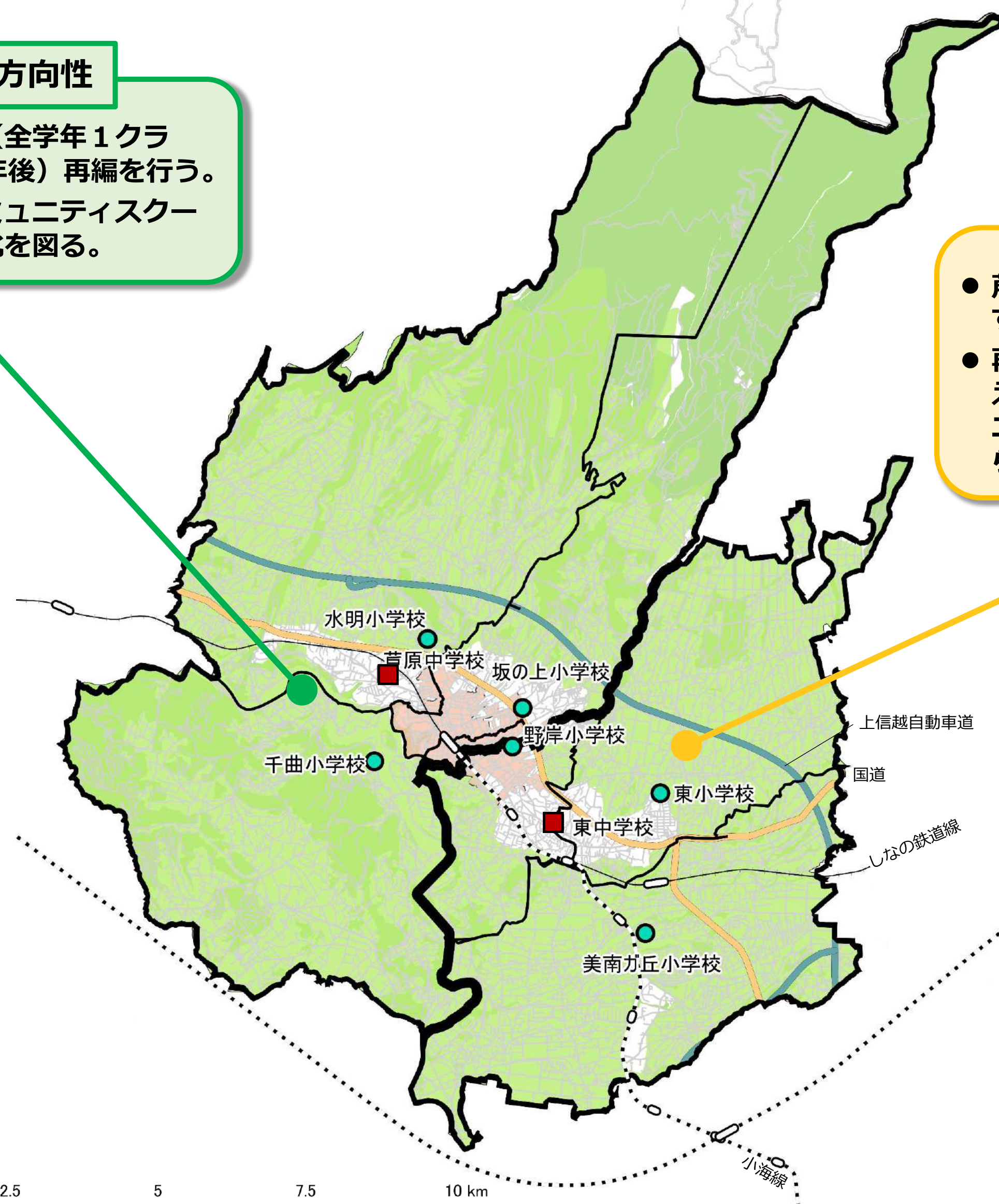
再編までに対応できるか

芦原中学校区の方向性

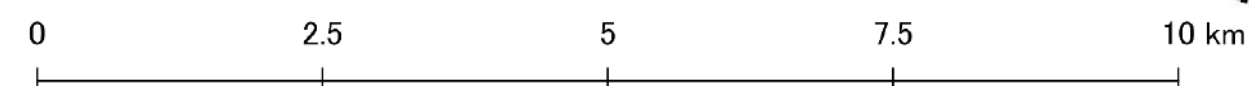
- 3小学校中2校が6学級（全学年1クラス）になる前までに（10年後）再編を行う。
- 再編整備と合わせて、コミュニティスクール化等により地域の拠点化を図る。

小諸東中学校区の方向性

- 芦原中学校区の統合後に再編を実施する。
- 再編までの間も、将来の再編も見据えながら、プールの共用化やコミュニティスクール化などできることから実行する。



○ 駅  
 鉄道  
 — しのの鉄道  
 ... JR  
  中学校区  
  小学校区  
 緊急輸送道路  
 上信越自動車道  
 国道  
 道路縁  
 DID人口集中地区  
 農業区域  
 森林区域

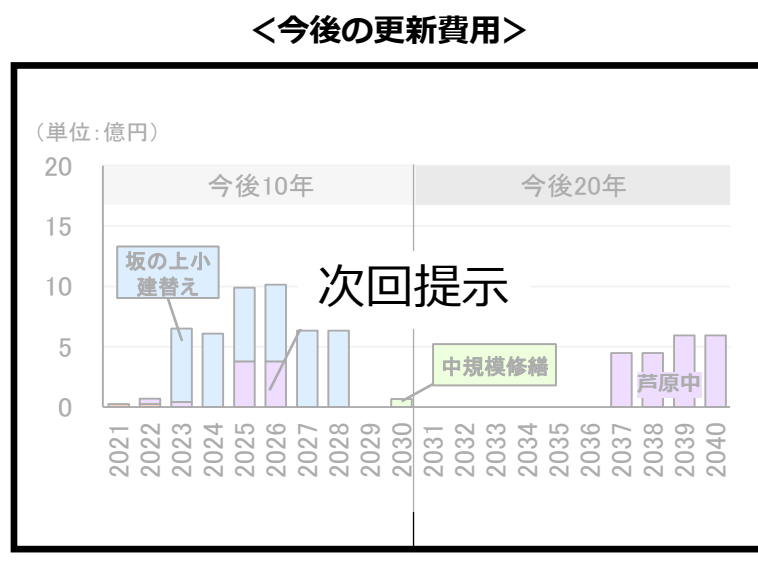




# 芦原中学校区再編計画案

～ 3つの案 ～

# 6 再編計画（施設配置計画）～10年後のすがた～

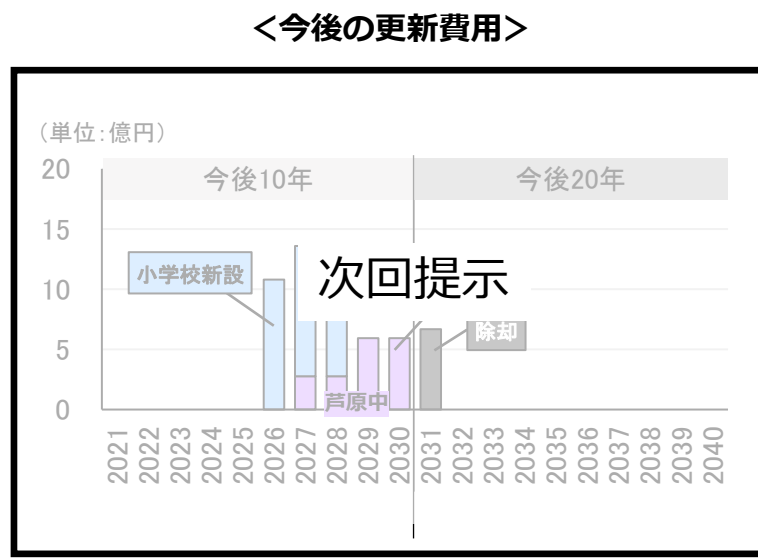


校名	基本情報				躯体以外の劣化状況										計画		
	棟名	構造	面積 m <sup>2</sup>	西暦	屋根	外装	内装	給排水	冷暖房	エレベーター	その他	健全度	R3	R12	R22		
4校 芦原中学校 5棟 12,249m <sup>2</sup>	1 屋内運動場	RC	3	3,263	1998	23	A	A	A	A	C	-	83				
	2 北校舎	RC	3	2,010	1999	22	A	A	A	B	B	A	94				
	3 中校舎	RC	3	2,857	1999	22	A	A	A	B	B	A	94				
	4 給食棟	S	1	449	1999	22	A	A	A	B	B	-	93				
	5 南校舎	RC	3	3,670	2000	21	A	A	A	B	B	A	94				
坂の上小学校 8棟 6,387m <sup>2</sup>	1 低学年棟	RC	1	1,182	1970	51	A	A	B	C	C	B	54				
	2 南校舎	RC	3	4,422	1971	50	A	A	B	C	C	B	54				
	3 特別(理科)教室棟	RC	1	287	1971	50	A	A	C	C	C	-	47				
	4 昇降口棟	RC	2	686	1971	50	A	A	C	C	C	-	47				
	5 北校舎	RC	3	2,999	1971	50	A	A	C	C	C	B	49				
	6 給食棟	RC	1	200	1971	50	B	B	C	C	C	-	44				
	7 特別(音楽)教室棟	RC	1	459	1971	50	B	A	C	C	C	-	46				
	8 屋内運動場	RC	1	652	2009	12	A	A	A	A	A	-	100				
水明小学校 5棟 5,762m <sup>2</sup>	1 北校舎	RC	3	2,253	1974	47	C	C	B	C	C	A	95				
	2 昇降口棟	RC	1	864	1974	47	B	B	B	C	C	-	95				
	3 南校舎	RC	2	1,547	1974	47	B	C	C	C	A	B	58				
	4 給食棟	RC	1	292	1975	46	B	B	C	C	C	-	50				
	5 屋内運動場	S	1	836	1976	45	A	B	A	A	A	-	77				
千曲小学校 5棟 4,966m <sup>2</sup>	1 管理棟	RC	2	990	1981	40	B	A	B	C	C	A	91				
	2 高学年棟	RC	3	2,223	1981	40	A	B	A	C	C	A	95				
	3 低学年棟	RC	1	516	1981	40	A	B	A	C	C	A	92				
	4 給食棟	RC	1	734	1981	40	A	A	A	A	A	-	80				
	5 給食棟	RC	1	503	1982	39	A	A	A	C	C	-	72				

**4校** : 小学校3校・中学校1校を、今後も全て維持する

現状

延床面積	約29,000m <sup>2</sup>
学級数	・20年後、 小学校は全校6学級 中学校は 9学級



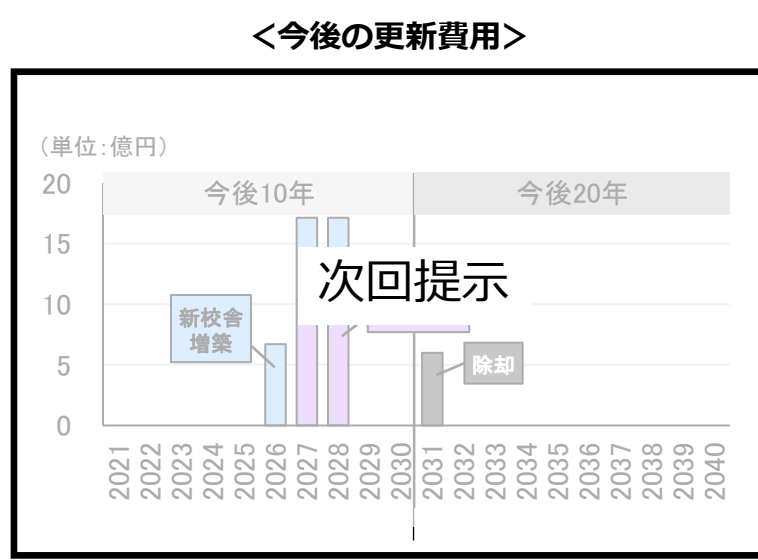
校名	基本情報				躯体以外の劣化状況										計画		
	棟名	構造	面積 m <sup>2</sup>	西暦	屋根	外装	内装	給排水	冷暖房	エレベーター	その他	健全度	R3	R12	R22		
2校 芦原中学校 12,249m <sup>2</sup> -10,239m <sup>2</sup>	1 屋内運動場	RC	3	3,263	1998	23	A	A	A	C	C	-	83				
	2 北校舎	RC	3	2,010	1999	22	A	A	A	B	B	A	94				
	3 中校舎	RC	3	2,857	1999	22	A	A	A	B	B	A	94				
	4 給食棟	S	1	449	1999	22	A	A	A	B	B	-	93				
	5 南校舎	RC	3	3,670	2000	21	A	A	A	B	B	A	94				
統合小学校 5,762m <sup>2</sup> -9,830m <sup>2</sup>	1 既存校舎	RC	3	4,926	1974	47	C	C	B	C	C	A	55				
	2 屋内運動場	S	1	836	1976	45	A	B	B	A	C	-	77				
	3 新設校舎	RC	3	8,600	2026		A	A	A	A	A	A	100				
	4 新設屋内運動場	RC	3	1,230	2026		A	A	A	A	A	A	100				

● 現状4校を維持するよりは、面積・コストともに圧縮できる。

**2校** : 小中近接（小学校を1校に統合、中学校は既存校を活用）

計画案①

延床面積	約20,000m <sup>2</sup> (-9,000m <sup>2</sup> )
学級数	・20年後、 小学校は18学級 中学校は 9学級



校名	基本情報				躯体以外の劣化状況										計画		
	棟名	構造	面積 m <sup>2</sup>	西暦	屋根	外装	内装	給排水	冷暖房	エレベーター	その他	健全度	R3	R12	R22		
1校 小中併設校 芦原中学校 (主に小学校) 12,249m <sup>2</sup>	1 屋内運動場	RC	3	3,263	1998	23	A	A	A	C	C	-	83				
	2 北校舎	RC	3	2,010	1999	22	A	A	A	B	B	A	94				
	3 中校舎	RC	3	2,857	1999	22	A	A	A	B	B	A	94				
	4 給食棟	S	1	449	1999	22	A	A	A	B	B	-	93				
	5 南校舎	RC	3	3,670	2000	21	A	A	A	B	B	A	94				
増築棟 (主に中学校) 2棟6,100m <sup>2</sup>	6 新校舎(増築棟)	RC	3	5,100	2026		A	A	A	A	A	A	100				
	7 新屋内運動場(増築棟)	RC	3	1,000	2026		A	A	A	A	A	A	100				

● 3案のなかで、最も面積がコンパクトで、コストも低い。  
(屋内運動場・一部教室を中学校と共用するため)

**1校** : 小中併設（小学校を中学校の敷地内で統合・増築）

計画案②

延床面積	約18,000m <sup>2</sup> (最大-11,000m <sup>2</sup> ) 最もコンパクト
学級数	・20年後、 小学校は18学級 中学校は 9学級

# 6 再編計画（教職員の構成） ～ 10年後のすがた ～

※ 特別支援学級は、R3年度の実績を据え置き  
 ※ 児童生徒数・学級数の合計は、特支を含まない

全校が小規模校化し、教員確保等の対応が難しい

● 10年後[R13]

4校

① 坂の上小学校			② 水明小学校			③ 千曲小学校			④ 芦原中学校					
教職員		児童数	学級数	教職員		児童数	学級数	教職員		生徒数	学級数			
校長	1人	1年生	33人	1CR	校長	1人	1年生	36人	2CR	校長	1人	1年生	93人	3CR
教頭	1人	2年生	34人	1CR	教頭	1人	2年生	36人	2CR	教頭	1人	2年生	111人	4CR
担任	6人	3年生	34人	1CR	担任	10人	3年生	37人	2CR	担任	20人	3年生	93人	3CR
特支学級	1人	4年生	34人	1CR	特支学級	3人	4年生	38人	2CR	特支学級	0人	特支	19人	3CR
専科	1人	5年生	31人	1CR	専科	2人	5年生	33人	1CR	専科	-人			
養護、事務	1人	6年生	32人	1CR	養護、事務	2人	6年生	35人	1CR	養護、事務	2人			
その他	1人	特支	5人	2CR	その他	0人	特支	14人	3CR	その他	4人			
非常勤	0人	合計	198人	6CR	非常勤	0人	合計	215人	10CR	非常勤	0人			
教員(県)・計	12人				教員(県)・計	19人				教員(県)・計	28人			
職員(市)・計	9人				職員(市)・計	11人				職員(市)・計	11人			
合計	21人				合計	30人				合計	39人			

このまま維持する

2校

① 統合小学校			② 芦原中学校						
教職員		児童数	学級数	教職員		生徒数	学級数		
校長	1人	1年生	82人	3CR	校長	1人	1年生	93人	3CR
教頭	1人	2年生	83人	3CR	教頭	1人	2年生	111人	4CR
担任	18人	3年生	84人	3CR	担任	20人	3年生	93人	3CR
特支学級	6人	4年生	85人	3CR	特支学級	0人	特支	19人	3CR
専科	2人	5年生	76人	3CR	専科	-人			
養護、事務	2人	6年生	74人	3CR	養護、事務	2人			
その他	4人	特支	23人	3CR	その他	4人			
非常勤	0人	合計	484人	18CR	非常勤	0人			
教員(県)・計	35人				教員(県)・計	28人			
職員(市)・計	17人				職員(市)・計	11人			
合計	52人				合計	39人			

小学校を統合する

※ 集約することで専科教員を確保できる

1校

① 小中併設校		小学校		中学校			
統合小教職員	芦原中教職員	児童数	学級数	生徒数	学級数		
校長	1人	1年生	82人	3CR	1年生	93人	3CR
教頭	1人	2年生	83人	3CR	2年生	111人	4CR
担任	18人	3年生	84人	3CR	3年生	93人	3CR
特支学級	6人	4年生	85人	3CR	特支	19人	3CR
専科	2人	5年生	76人	3CR			
養護、事務	2人	6年生	74人	3CR			
その他	4人	特支	23人	3CR			
非常勤	0人	合計	484人	18CR	合計	297人	10CR
教員(県)・計	35人						
職員(市)・計	17人						
合計	52人						

小中併設になると

※ 小学校・中学校教員が連携しやすい

※ 優先的に専科指導の対象となる教科等で中学校教員との連携も図りやすい

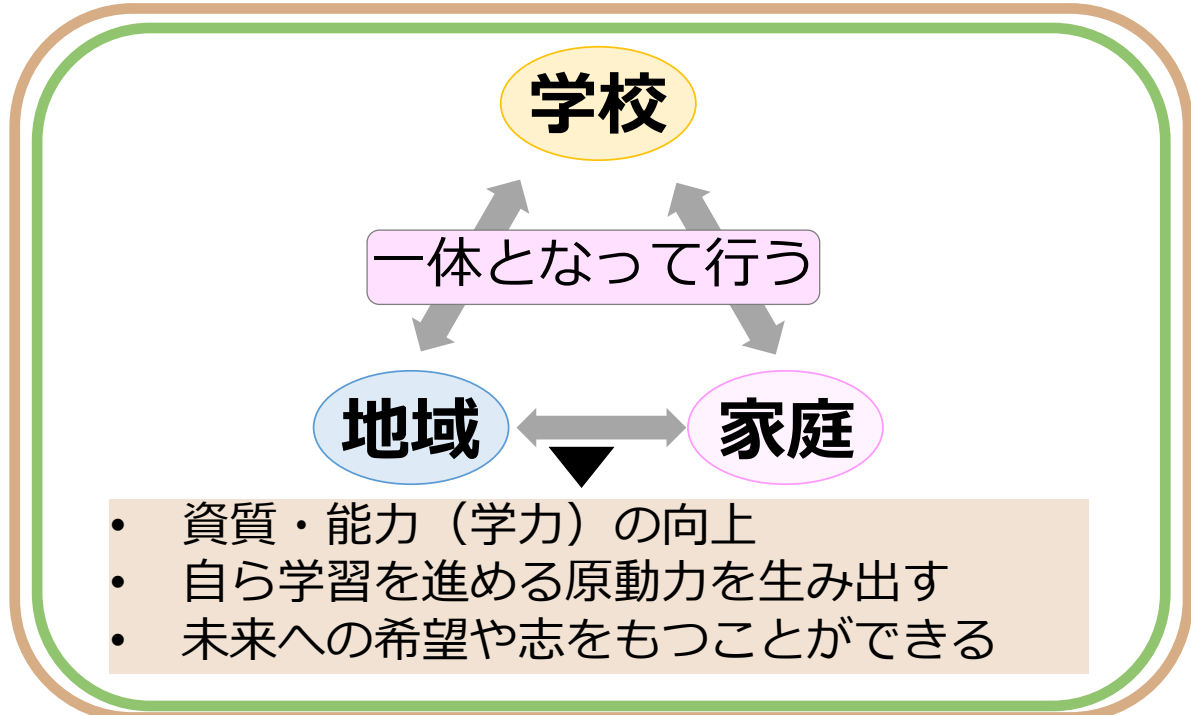
中学校教科	小学校教科
国語	国語
社会	社会
数学	算数
理科	理科
音楽	生活
美術	音楽
保健体育	図画工作
技術・家庭	家庭
外国語	体育
	外国語

来年度から始まる小学校の教科担任制にも対応しやすい

# 7 望ましい学習環境の確保

求められる学校の実現に向けて  
～教育を支える「ひと・もの・こと」の組織化～

## 1 一人一人の学びを支える教育を推進するために



## 2 小中一貫教育の実施例

<b>小中教職員の交流</b> ・ 加わらぬマネジメントの推進（教員間の交流の場の確保） ・ 中学校専科教員の授業を小学生が受講	<b>児童生徒の交流</b> ・ まず出来るところより行っていく ・ 中学校の空き教室に小学生のスペースを確保	<b>児童生徒のつながり</b> ・ 学級・学年・学校を越えてつながりをつくる ・ 交流スペースで学年を越えて関わりあう
--	---	--

## 3 市民参加による教育の推進

<b>学校を核としたコミュニティ</b> ・ ボランティアによるさまざまなサポート ・ 活躍の場づくり交流の場 ・ 保護者・子ども・ボランティア	<b>市と民間との連携</b> ・ 共有化事例
---	----------------------------

## 4 学びを支える環境を整える

・ 保護者を支える相談体制、支援体制 ・ 合理的配慮・ユニバーサルデザインに基づく学習と学校の環境整備	<b>不登校対応</b> ・ 小諸市の不登校対応の現状 ・ 不登校対応の事例
--	--

### 家庭

●保護者に支えられる家庭学習

- 保護者に見守られ支えられる家庭学習は、児童生徒にとって学習への意欲向上となる。
- 親子が対話する貴重な機会となり、学校での様子や心の状態への気づきも期待できる。

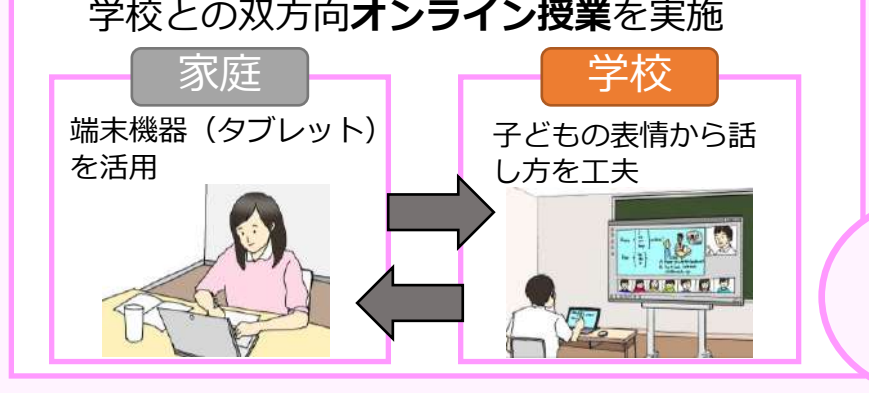
子どもの読み聞かせて親子のつながりを作る。

●放課後児童クラブ等を活用した学習サポート

- 児童の中には、自宅では十分な学習スペースを確保できない場合もあるため、放課後児童クラブや他の公共施設等を活用して学習スペースを確保する。
- 家庭での学習環境が十分でない児童生徒が、児童館、公民館、図書館等でボランティア等の支援を受けて学ぶ。

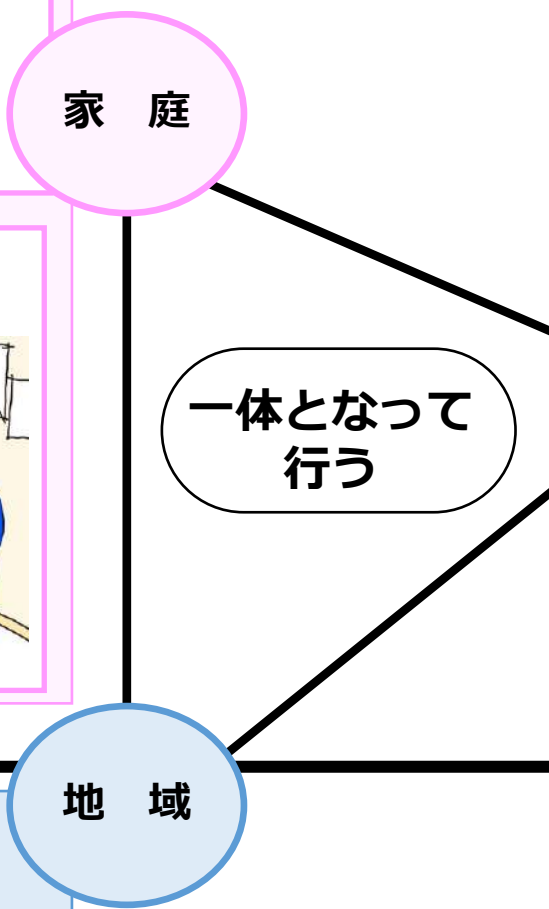
指導員

### ●オンライン授業の実施



●学んだ内容の定着を図るが自学自習

- 家庭に端末機器（タブレット）を持ち帰り、自宅で自学自習へつなげるため、つまづきを克服しながら学んだ内容の定着を図ることができる。
- 教員が、端末機器（タブレット）内に管理された学習履歴を確認し、子どもの学習状況を把握できる。



### 地域（コミュニティスクール）（芦原中学校区）・（小諸東中学校区）

●地域連携協働スペースの導入

- 学校内に地域連携協働スペースを設置することで、学校と地域が連携協働して取り組む教育活動について日常的に計画・実施することが可能になる。

地域ボランティアの居場所づくり

保護者とボランティア、子ども、お年寄り等、様々な人が集い、交流する。

●地域ボランティア指導員によるサポート

「信州型」コミュニティ・スクールの取り組みを進め、学習ボランティア等の導入

- ボランティアは、子どもの学習サポートの方法等を話し合い、子どもに寄り添いながら活動を行う。

### ●地域から学ぶ

- 地元企業の職場体験、田植え体験、伝統行事や文化財等、小諸市について理解を深めることで、小諸市で育ったことに誇りを持ち、地域愛が育まれる。

小学生 信州味噌づくり体験

小諸宿 本陣主屋

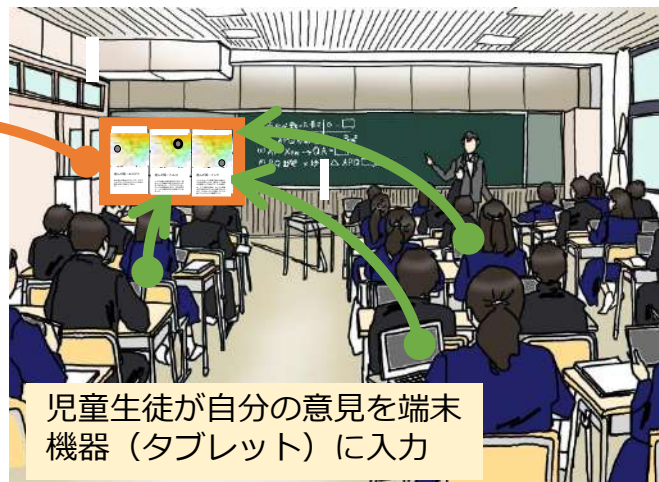
## 授業

### ●ICT活用で、一人一人が思考・判断し表現できる学習

ICTを活用した互いに検討し合う学びは、一人一人の学びを支え、思考力・判断力・表現力の育成を図る。



生徒一人一人の意見がディスプレイに表示され、一人一人の考えを共有。

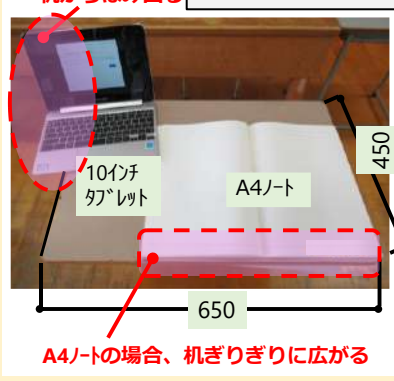


児童生徒が自分の意見を端末機器（タブレット）に入力

- 用意した画像や動画を端末機器（タブレット）に送り、一人一人の児童生徒が取り組む。
- 児童生徒の学習状況等をデータ化し、理解度別自動出題等、一人一人に合った学習ができる。
- 教員も児童生徒も「今どこまでできるようになったのか」を把握できる。

机の大きさ：  
450mm\*650mm

タブレットが机からはみ出る



A4ノトの場合、机ぎりぎりに広がる

学校

### ●英語に親しみコミュニケーション能力向上を図る学習

クラス担任とALTのモデル会話を見たり聞いたりしながら、会話の仕方に慣れ、子ども達みんなが挑戦してみようとする意欲を育む。

#### 会話重視（コの字型授業）

- ALTとクラス担任による会話表現の授業。
- クラス担任とALTのモデル会話を見たり聞いたりしながら、会話の仕方に慣れ、子ども達みんなが挑戦してみようとする意欲を育む。



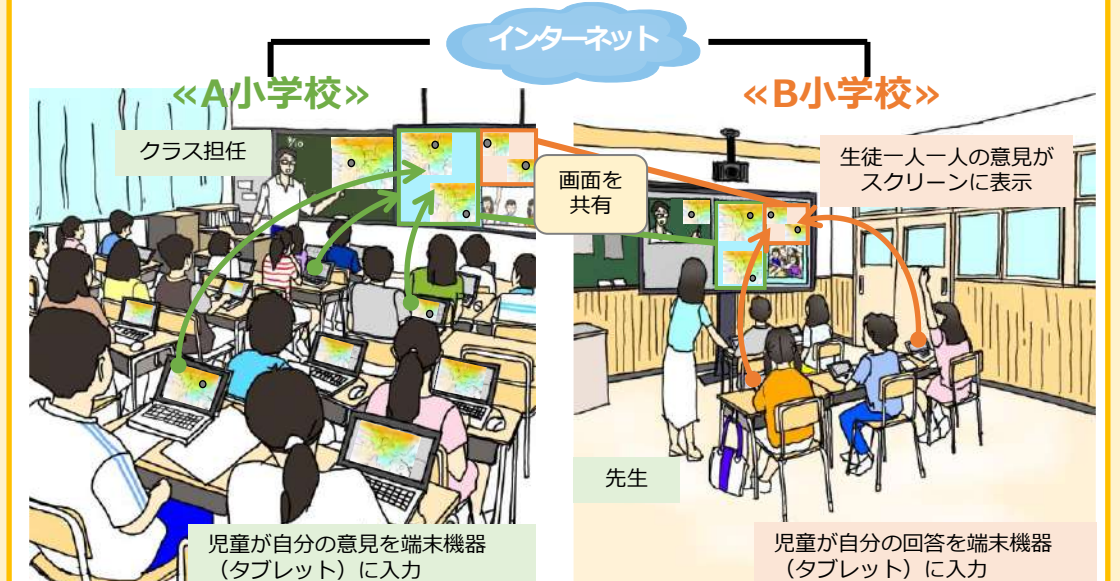
#### アクティビティ重視（グループ学習）

- ALTとクラス担任がしゃがんで、子どもと目線を合わせた授業。
- 教室内に活動スペースを確保し、体を動かして少人数で行う。身体を動かしてゲーム感覚で授業に参加することで、外国語に慣れ親しむ。



### ●遠隔授業の実施

離れた2つの学校で同時双方向コミュニケーションを取りながら学習を進める。

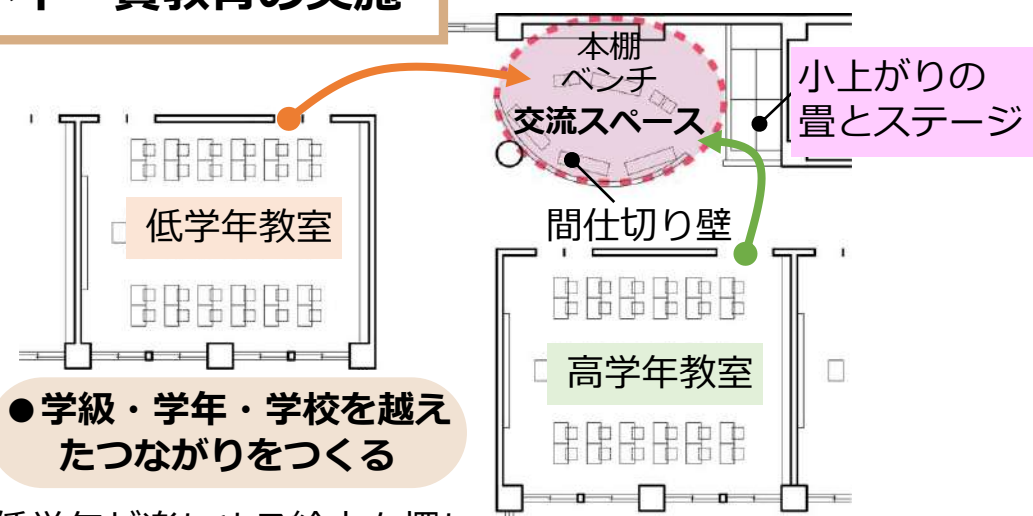


児童35人+教員がICT機器を活用して場所の離れた学校と遠隔でつながる。

児童に対して、ICT機器の操作や学習等をサポートする補助員が付き、授業を進める。

- 離れた2つの学校の同じ学年の児童生徒が、互いの取り組みの情報交換をしたり意見交換をしたりしながら学習を進めることが可能となる。
- 補助員を設け、児童たちの学習のサポートを実施する。
- 教員は、ICT機器で一人一人の意見を同時に確認し、授業への個人の理解度を把握できる。

## 小中一貫教育の実施



### ●学級・学年・学校を越えたつながりをつくる

- 低学年が楽しめる絵本を探し、仲間と相談して活動に取り組む。
- 学年を越えての関わり活動が、高学年の子どもに自信、意欲、協調する力、粘り強さ等「非認知能力」の向上や心の成長につながる。
- オンラインの小中学校の交流スペースとしても活用できる。



交流スペースで高学年の子どもが低学年の子どもに読み聞かせを行う。

### ●中学校専科教員の授業を小学生が受講

小学生が、中学校教員から専科の授業を受け、中学校の授業をイメージしやすくする。



小学生が中学校を訪問して、専科の先生から授業を受ける

### ●小中連携活動の実施

- 中学校での1日体験授業
- 共に学ぶことで交流を深める
- 中学生が小学生に勉強を教える等



中学生がお兄さん先生、お姉さん先生となり小学生に勉強を教える

### ●小中教職員の交流（カリキュラムマネジメント）

9年間を通して系統的に指導するため一貫性のあるカリキュラム・マネジメントを話し合う。



小・中学校の教員同士で情報を交換できる

## 不登校対応・特別支援教育

### ●不登校対応の充実

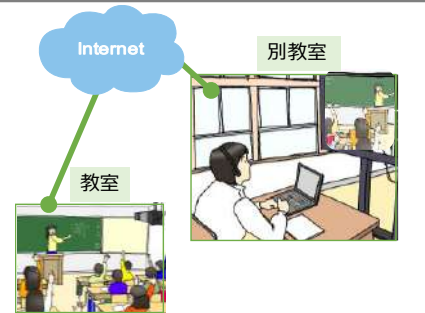
- 芦原中学校区に設置した教育支援センターで対応。
- センターでの活動としては、教科の学習、野外学習・調理活動・ものづくりや読書等の自由時間がある。
- 個室空間での不登校対応。
- オンラインでの不登校対応



教育支援センターでの活動

### ●特別支援教育の充実

- 通常学級で教師と指導員がチームをつくり、一人一人の学びを支える。
- ユニバーサルデザインを大切にされた教室環境。
- 地域の方々の協力を得て、豊かな学びをする。
- 音声再生や文字の拡大等、一人一人が学びやすい学習方法で学べる。



オンラインで小学校と中学校とも連携がしやすくなり、連続的な支援ができる

# 7 望ましい学習環境の確保

## 市民参加による教育の推進

### 学校を核としたコミュニティ

#### ● ボランティアによる様々なサポート（地域の子は地域で育てる）

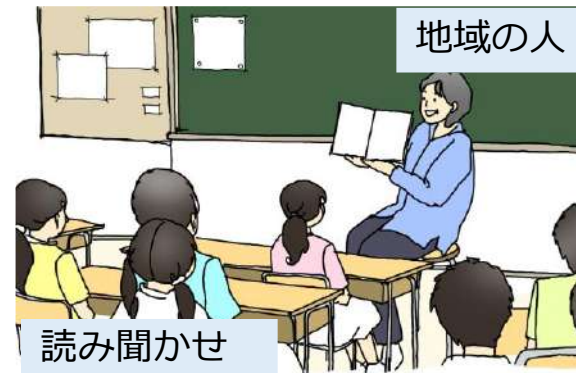
##### ボランティアサポートメニュー

【放課後学習のサポート】  
 放課後に空き教室棟を利用して、地域ボランティアが子どもの学習をサポートする。端末機器（タブレット）を用いた学習等により支援していく。

【読み聞かせサポート】  
 読み聞かせにより様々な世界に触れ、知的好奇心が刺激され「言語能力」等の資質・能力が育まれる。

【校舎周辺整備のサポート】  
 ボランティアによる草取りや花の手入れを中心に環境整備を実施する。地域の人々が学校に来校することで、学校が地域に開かれた場所となる。

【登下校の見守り隊で安全安心をサポート】  
 登下校時に横断歩道等で子どもを見守るボランティア活動。登下校時に挨拶を交わす等ふれあひから、地域との絆も深まっていく。

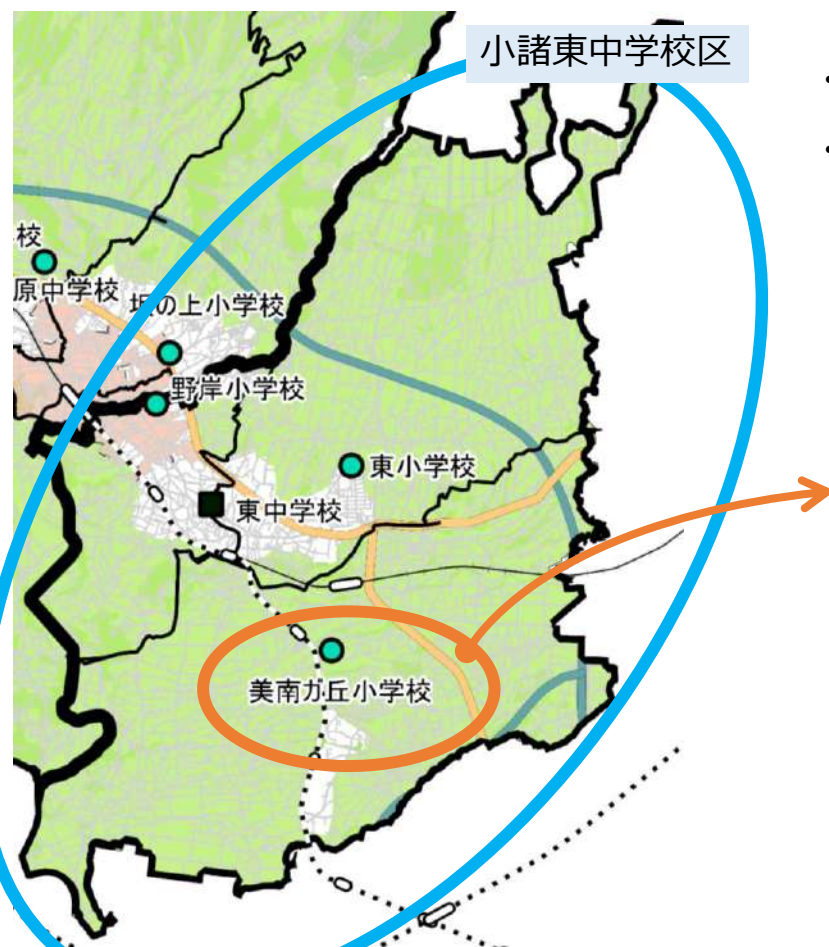


##### 地域から学ぶ

###### 《総合的探究活動》

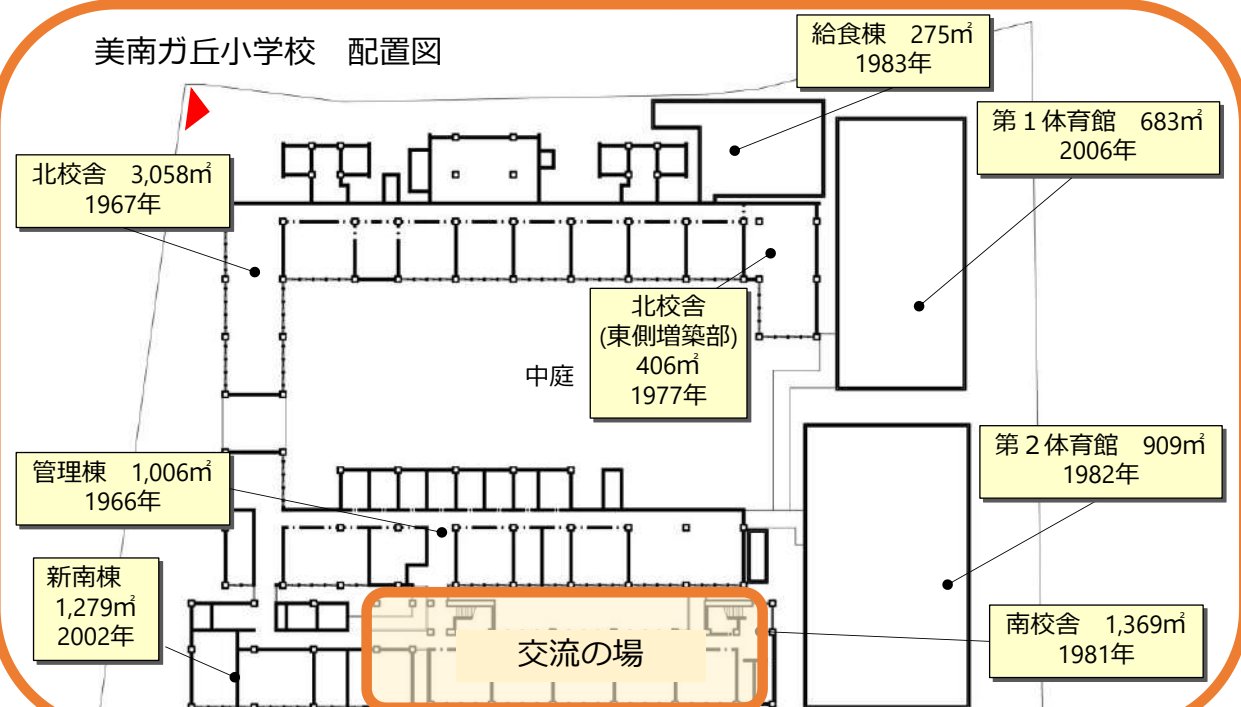
- 小学校の生活科や中学校での総合の時間に、地域に出て、小諸市について地域の人と一緒に学ぶ。
- 地域の人を授業に招いたり、オンラインで繋がったりして授業を実施することができる。
- 地元企業の職場体験、田植え体験、伝統行事や文化財等、小諸市について理解を深めることで、小諸市で育ったことに誇りを持ち、地域愛が育まれる。

#### ● 活動の場づくり



- 学校施設内に住民との交流できる場を設ける等、地域のコミュニティ拠点として活用していくことが考えられる。
- 地域住民が日常的に学校に訪れ、過ごせる場所を学校内に設け、コミュニティスクールを促進する。
- 日常的に学校を訪れる機会が増えると有事の際にも、対応が可能となる。

##### 美南が丘小学校 配置図



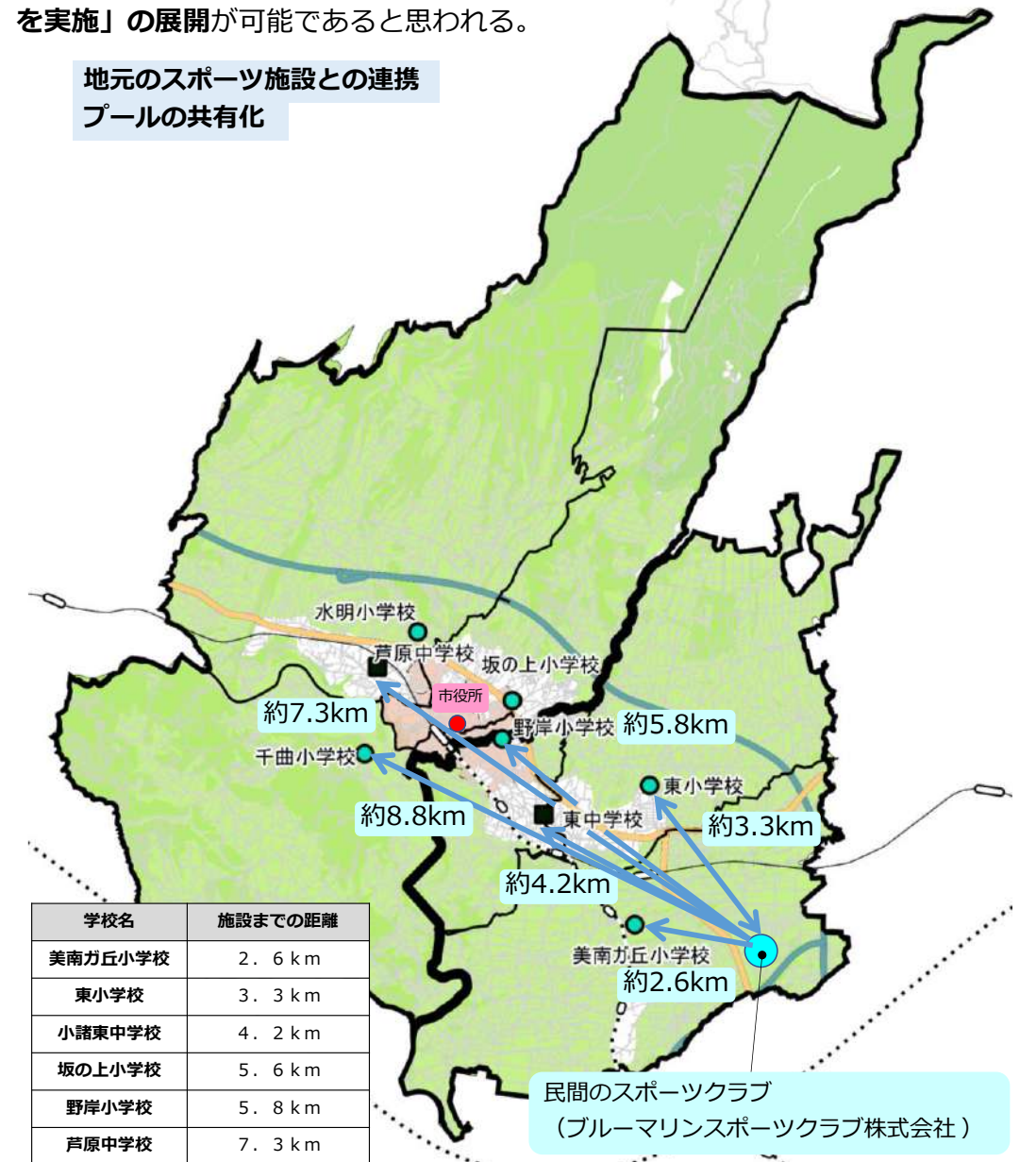
小諸東中学校区において、美南が丘小学校の3階を交流の場とする案を提案。

### 民間施設との共有化

#### ● 小諸市でのプール共有化実践

実際に行われている他県の事例を参考に「2. 民間スイミングスクールで水泳授業を実施」の展開が可能であると思われる。

##### 地元のスポーツ施設との連携 プールの共有化



#### ● 民間施設との共有化例

##### 民間スイミングスクールで水泳授業を実施（千葉県佐倉市）

- 平成25年度から市内の小学校1校でプールをなくし、水泳授業は民間事業者が運営するスイミングスクールで実施している。
- 平成28年現在、2校が民間スイミングスクールを活用して水泳の授業を実施。

##### 《効果》

- 送迎バスでの移動が可能。
- 学校の教員に加え、スイミングスクールのインストラクターも水泳の指導が受けられる。
- 安全管理面での教員の負担が軽減される。
- 水温や水質、衛生管理等の面で安定した環境で授業ができる。
- 天候に左右されない。



## 芦原中学校区再編計画案

～ 条件、プラン、活用イメージについて ～

# 8 現状（中学校1校・小学校3校）

## ●中学校

### 芦原中学校

概要情報	
延床面積	12,249㎡
生徒数	381人
学級数（通常12、特支4）	
運動場	16,100㎡



延床面積 4校合計  
29,217㎡

※概要情報の児童生徒数・学級数は令和4年5月1日現在  
※推計値（R13、R23）は令和3年度に基づく推計

	現在	10年後	20年後
	R3 2021	R13 2031	R23 2041
生徒数（人）	410	297	266
通常学級数（学級数）	13	10	9

## ●小学校

### 坂の上小学校

概要情報	
延床面積	6,387㎡
児童数	288人
学級数（通常12、特支2）	
運動場	9,039㎡



	現在	10年後	20年後
	R3 2021	R13 2031	R23 2041
児童数（人）	290	198	189
通常学級数（学級数）	12	6	6

### 水明小学校

概要情報	
延床面積	5,762㎡
生徒数	300人
学級数（通常11、特支3）	
運動場	11,120㎡



	現在	10年後	20年後
	R3 2021	R13 2031	R23 2041
児童数（人）	325	215	188
通常学級数（学級数）	12	10	6

### 千曲小学校

概要情報	
延床面積	4,966㎡
生徒数	88人
学級数（通常6、特支1）	
運動場	7,873㎡



	現在	10年後	20年後
	R3 2021	R13 2031	R23 2041
児童数（人）	90	71	70
通常学級数（学級数）	6	6	6



# 9 計画条件 (計画案①) : 小中近接\_統合小学校+芦原中学校

**前提条件**

敷地	敷地面積
	敷地状況

職員数  
児童生徒数  
学級数

↓

学級数より学校  
ボリューム  
(目安) 算出

**<統合小学校> ...新築**

水明小学校敷地	23,927㎡ 敷地は地盤が弱い地域にあり、南側に校舎用地、北側に運動場 北側と東側は幅4mの市道に面し、メインアプローチになる西側の市道との接道長さは12m
---------	---

10年後 (R13)			
教職員		児童数	学級数
校長	1人	1年生 82人	3CR
教頭	1人	2年生 83人	3CR
担任	18人	3年生 84人	3CR
特支学級	6人	4年生 85人	3CR
専科	2人	5年生 76人	3CR
養護、事務	2人	6年生 74人	3CR
その他	4人	特支 23人	3CR
非常勤	0人		
教員(県)・計	35人		
職員(市)・計	17人		
<b>合計</b>	<b>52人</b>	<b>合計 484人</b>	<b>18CR</b>

児童数	10年後 (R13)	20年後 (R23)
児童数	484人	444人
普通学級数	18クラス	18クラス
特別支援学級	4クラス	4クラス

校舎等必要面積(学級数より算出)

校舎(※1)	6,693㎡
屋内運動場(※1)	1,215㎡
運動場(※2)	4,820㎡

※1: 国庫補助基準 ※2: 学校設置基準

**<芦原中学校> ...長寿命化改修**

芦原中学校敷地	35,877㎡ 敷地は2段敷地で、北側の高い敷地に校舎・体育館、南側に運動場 3方向は市道に面し、隣地に面する東側は南北をつなぐ校内通路
---------	--

10年後 (R13)			
教職員		生徒数	学級数
校長	1人	1年生 93人	3CR
教頭	1人	2年生 111人	4CR
担任	20人	3年生 93人	3CR
特支学級	0人	特支 19人	3CR
専科	-		
養護、事務	2人		
その他	4人		
非常勤	0人		
教員(県)・計	28人		
職員(市)・計	11人		
<b>合計</b>	<b>39人</b>	<b>合計 297人</b>	<b>10CR</b>

生徒数	10年後 (R13)	20年後 (R23)
生徒数	297人	266人
普通学級数	10クラス	9クラス
特別支援学級	4クラス	4クラス

校舎等必要面積(学級数より算出)

校舎(※1)	5,690㎡
屋内運動場(※1)	1,138㎡
運動場(※2)	4,170㎡

※1: 国庫補助基準 ※2: 学校設置基準

**設計条件**

計画面積	校舎
	屋内運動場
	運動場

校舎	約 8,600㎡ <b>新築</b>	約 6,976㎡ <b>減築</b> *北棟を減築
屋内運動場	約 1,230㎡ <b>新築</b>	約 3,263㎡ <b>既存</b>
運動場	11,120㎡ <b>既存</b>	16,100㎡ <b>既存</b>
<b>合計: 校舎 約15,576㎡ ・ 屋内運動場 約4,493㎡ ・ 運動場 27,220㎡</b>		

**想定諸室**

普通教室	22室 (通常学級18、特別支援学級4)、プレイルーム	13室 (通常学級9、特別支援学級4)、プレイルーム *R13年では10CRだが、R15年以降は9CRのため9CRで想定
特別教室	理科室(2)、音楽室(2)、家庭科室、図工室、英語教室、メディアセンター (図書室+PC室)、視聴覚室	理科室(2)、音楽室(2)、家庭科室、技術科木工室、美術室、英語教室、メディアセンター (図書室+PC室) *レイアウト変更に伴い面積増減あり
その他教室	少人数学習室、児童会室、多目的室、オープンスペース、交流スペース、個室 (不登校対応室)、更衣室	少人数学習室、生徒会室、多目的室(小学生教室)、小中交流ラウンジ、個室 (不登校対応室)、更衣室
管理諸室	校長室、職員室、スタジオ、応接室、保健室、用務/事務室、会議室、放送室、印刷室、職員更衣室、相談室等	校長室、職員室、スタジオ、応接室、保健室、事務室、会議室、放送室、印刷室、職員更衣室、相談室等
給食室	給食室	給食室【既存】
屋外プール	屋外プール【既存】	屋外プール【既存】
小中交流	特別教室 (中学教師による出張授業)、スタジオ (教職員遠隔交流用)	小中交流ラウンジ、多目的室(小学生教室)、スタジオ (教職員遠隔交流用) *主にイベント時などで交流ができる
地域開放	平日利用_地域開放スペース 休日+学校時間外利用_地域開放スペース、メディアセンター、多目的室、学習室 (補習授業ボランティア等) 家庭科室、音楽室(2)、図工室、屋内運動場、屋外プール ※1階の一部を開放	学校時間外利用_学習室 (補習授業ボランティア等)
バス送迎	スクールバス利用	バス利用なし
教育支援との連携	隣接する児童館・教育センターと連携	

✓ 特別教室 (理科室等)、管理諸室 (職員室等) プール は、小学校・中学校それぞれで整備

✓ 地域開放スペースは統合小学校のみ、整備

# 10 計画条件 (計画案②) : 小中連携\_小中併設校)

## <小中併設校> ...長寿命化改修+増築

**前提条件**

敷地	敷地面積
	敷地状況

職員数  
児童生徒数  
学級数

↓

学級数より学校のボリューム  
(目安) 算出

芦原中学校敷地	<b>35,877㎡</b>	・敷地は2段敷地で、北側の高い敷地に校舎・体育館、南側に運動場3方向は市道に面し、隣地に面する東側は南北をつなぐ校内通路 ・芦原中学校の周辺隣地を活用して敷地を拡大することを検討	
---------	----------------	--	--

10年後 (R13)							
統合小 教職員		芦原中 教職員		小学校		中学校	
	人数		人数	児童数	学級数	生徒数	学級数
校長	1人	校長	1人	1年生	82人 3CR	1年生	93人 3CR
教頭	1人	教頭	1人	2年生	83人 3CR	2年生	111人 4CR
担任	18人	担任	20人	3年生	84人 3CR	3年生	93人 3CR
特支学級	6人	特支学級	0人	4年生	85人 3CR	特支	19人 3CR
専科	2人	専科	-人	5年生	76人 3CR		
養護、事務	2人	養護、事務	2人	6年生	74人 3CR		
その他	4人	その他	4人	特支	23人 3CR		
非常勤	0人	非常勤	0人	<b>合計</b>	<b>484人 18CR</b>	<b>合計</b>	<b>297人 10CR</b>
教員(県)・計	35人	教員(県)・計	28人				
職員(市)・計	17人	職員(市)・計	11人				
<b>合計</b>	<b>52人</b>	<b>合計</b>	<b>39人</b>				

	10年後 (R13)	20年後 (R23)
児童数	484人	444人
普通学級数	18クラス	18クラス
特別支援学級	4クラス	4クラス

↓

校舎等必要面積(学級数より算出)	
校舎(※1)	6,693㎡
屋内運動場(※1)	1,215㎡
運動場(※2)	4,820㎡

	10年後 (R13)	20年後 (R23)
生徒数	297人	266人
普通学級数	10クラス	9クラス
特別支援学級	4クラス	4クラス

↓

校舎等必要面積(学級数より算出)	
校舎(※1)	5,690㎡
屋内運動場(※1)	1,138㎡
運動場(※2)	4,170㎡

※1: 国庫補助基準 ※2: 学校設置基準

**設計条件**

計画面積	校舎	8,986㎡【既存】 + 約5,100㎡【増築】 ⇒ 約 14,086 ㎡
	屋内運動場	3,263㎡【既存】 + 約1,000㎡【新築】 ⇒ 約 4,263 ㎡ (坂の上小学校の屋内運動場(852㎡)をクラブ活動等で利用することも可能) * 屋内運動場の下階には屋内プールを整備
	運動場	16,100㎡【既存】 * テニスコートを隣地に移設することで、活用スペースを拡大

**合計 : 校舎 約14,086㎡ ・ 屋内運動場 約4,263㎡ ・ 運動場 16,100 ㎡ ←計画案①と比較し、施設を共用することで面積減**

想定諸室	普通教室	小学校 : 22室 (通常学級18、特別支援学級4)、プレイルーム / 中学校 : 15室 (通常学級9、特別支援学級4)、プレイルーム * R13年では10CRだが、R15年以降は9CRのため9CRで想定
	特別教室	小学校 : 図工室、英語教室 / <b>小中共用 : 理科室(3)、音楽室(2)、家庭科室、英語教室、視聴覚室、メディアセンター (図書室+PC室)</b> / 中学校 : 技術室、美術室、英語教室
	その他教室	小学校 : 少人数学習室、児童会室、オープンスペース、交流スペース、個室 (不登校対応室)、更衣室 / 中学校 : 少人数学習室、生徒会室、オープンスペース、個室 (不登校対応室)、更衣室
	管理諸室	小学校 : 校長室、保健室、用務/事務室 / <b>小中共用 : 職員室、応接室、会議室、放送室、印刷室、職員更衣室、相談室等</b> / 中学校 : 校長室、保健室、用務/事務室
	給食室	小中共用 : 給食室【既存】
	屋外プール	屋内プール ⇒ 官民連携施設 (坂の上小学校の屋外プールを利用することも可能)
共用化	小中交流	メディアセンター、小中交流ラウンジ、交流スペース、多目的室、特別教室 (中学教師による専科授業) <b>小中教員同士の交流の場としての、教職員打合せスペース・会議室 * 日常的な交流ができる</b>
	地域開放	平日利用_ <b>地域開放スペース</b> * 既存校舎1階+2階、増築校舎1階、新設運動施設を開放 休日+学校時間外利用_ <b>地域開放スペース</b> 、メディアセンター、学習室 (補習授業ボランティア等)、音楽室(2)、理科室(3)、図工室、屋内運動場、屋内プール
	バス送迎	小学校 : スクールバス利用 / 中学校 : バス利用なし
	教育支援との連携	学童クラブを増築校舎内に設置

✓ 特別教室、職員室、プールなどは、小学校・中学校で共用する。

✓ 児童生徒同士、小・中教職員、子どもと教員などの日常的な交流が可能

# 11 建物配置とゾーニング案 (計画案①：小中近接\_統合小学校+芦原中学校)

設計計画学級数

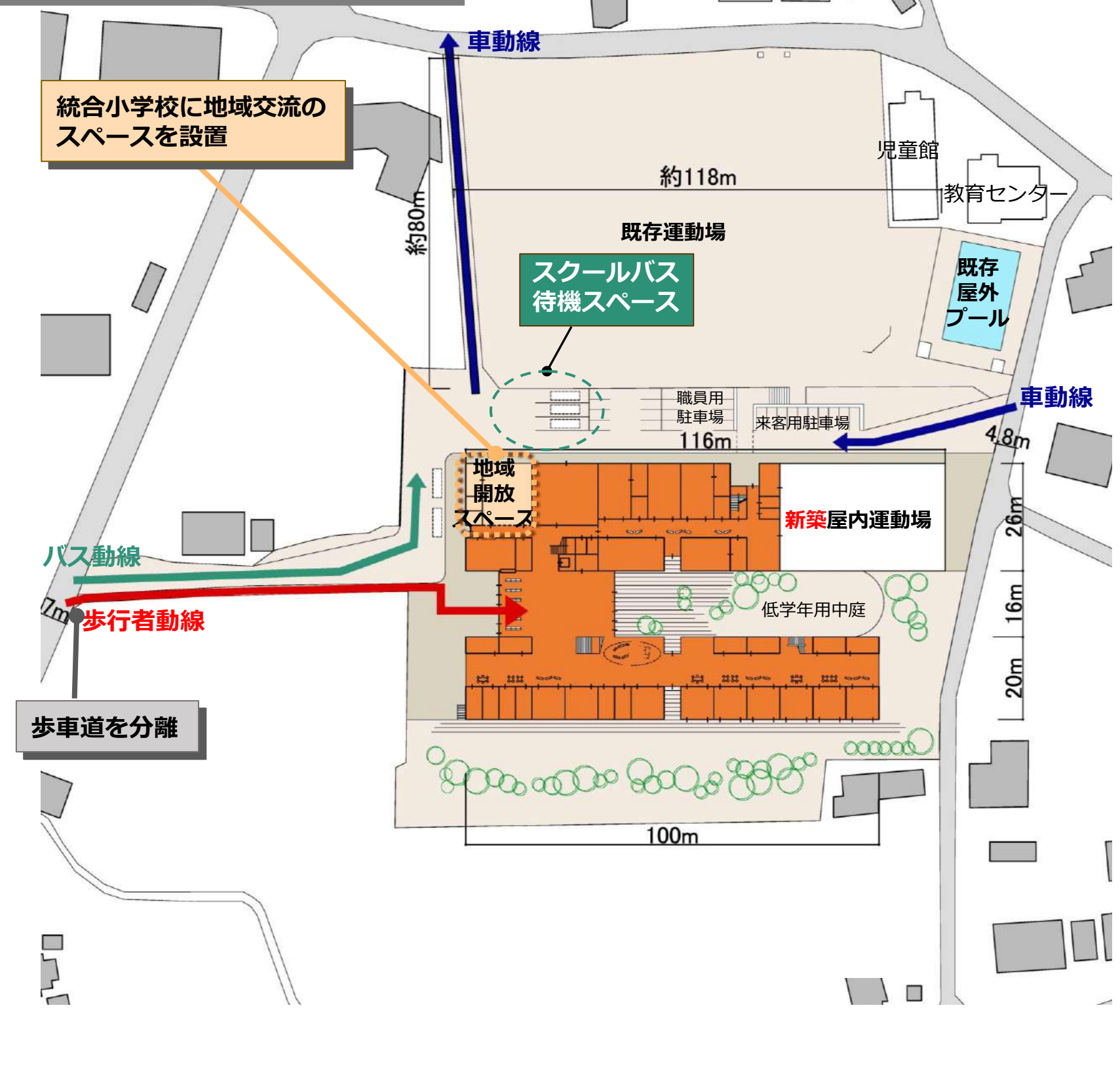
統合小学校	10年後	20年後
普通学級数	18クラス	18クラス
特別支援学級	4クラス	4クラス

設計計画面積

敷地	23,927㎡【既存】
校舎	約 8,600㎡【新築】
屋内運動場	約 1,230㎡【新築】
運動場	11,120㎡【既存】

※ 既存の校舎+給食棟+屋内運動場は解体

1/1200



設計計画学級数

芦原中学校	10年後	20年後
普通学級数	10クラス	9クラス
特別支援学級	4クラス	4クラス

設計計画面積

敷地	35,877㎡【既存】
校舎	6,976㎡【減築】
屋内運動場	3,263㎡【既存】
運動場	16,100㎡【既存】

※ 生徒数減少に伴い、教室の再配置を行い減築

※ 既存校舎は長寿命化改修

1/1200



# 12 建物配置とゾーニング案（計画案②：小中連携\_小中併設校）

設計計画学級数（10年後想定）		設計計画面積	
	<b>統合小学校</b>	敷地	35,877㎡【既存】
普通学級数	18クラス	校舎	8,986㎡【既存】 +約 5,100㎡【増築】 ⇒約14,086㎡
特別支援学級	4クラス	屋内運動場	3,263㎡【既存】
	<b>芦原中学校</b>	運動場	16,100㎡【既存】
普通学級数	10クラス		
特別支援学級	4クラス		

※ 既存校舎は長寿命化改修  
 ※ 給食棟、屋内運動場は既存施設を兼用

N  
 1/1200



増築校舎に地域交流のスペースを設置

中学校と小学校をつなぐ空間に小中交流のスペースを設置  
 小中一貫として学年を超えた交流が常に行うことができる

運動場をひろげて、小学生用運動場を確保（体格差に配慮）

歩車道を分離

スクールバス待機スペース

(芦原保育園)

# 13 活用イメージ (計画案①) : 小中近接\_統合小学校

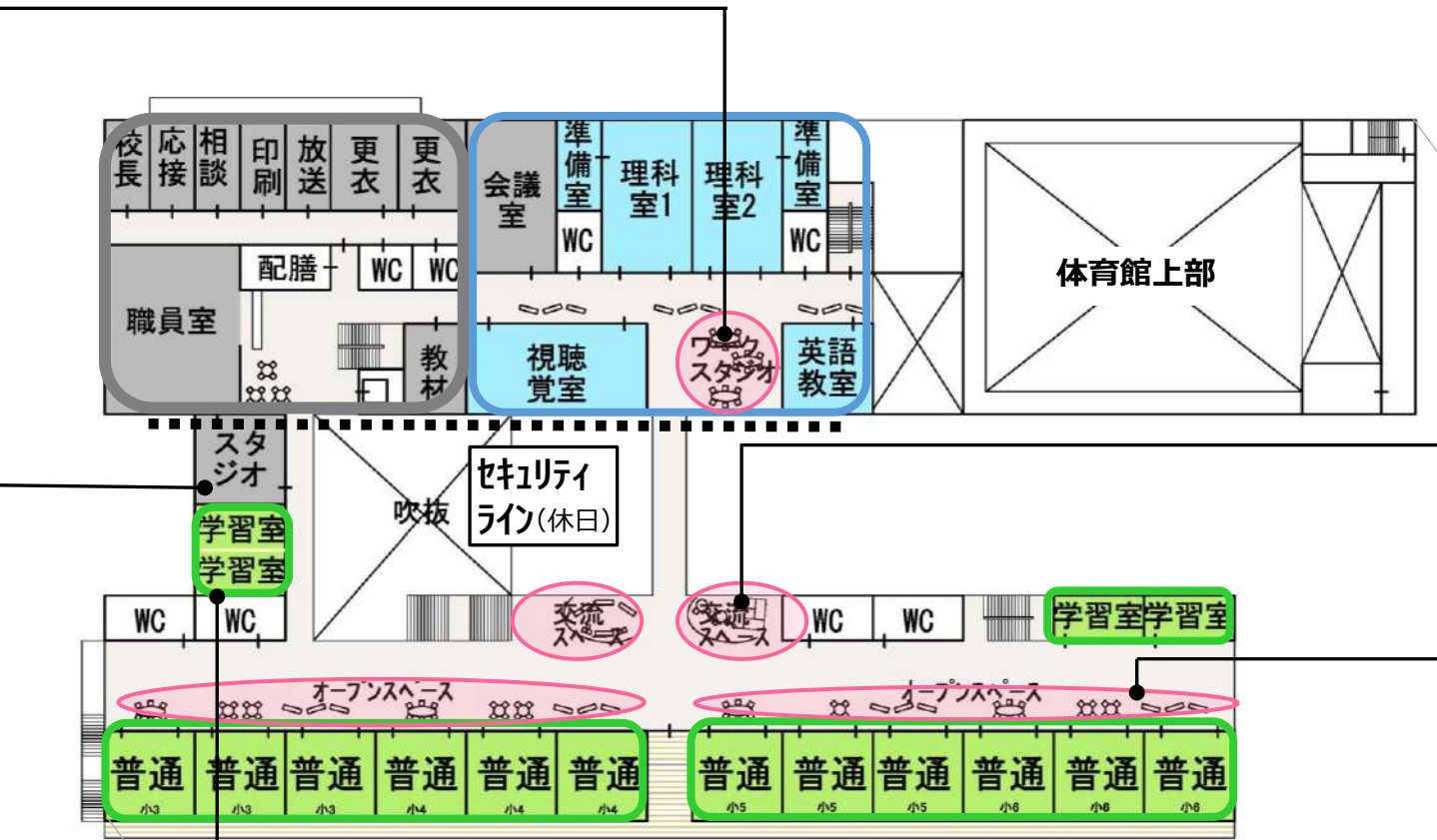
## ●ワークスタジオでの活動



## ●小中教職員の交流

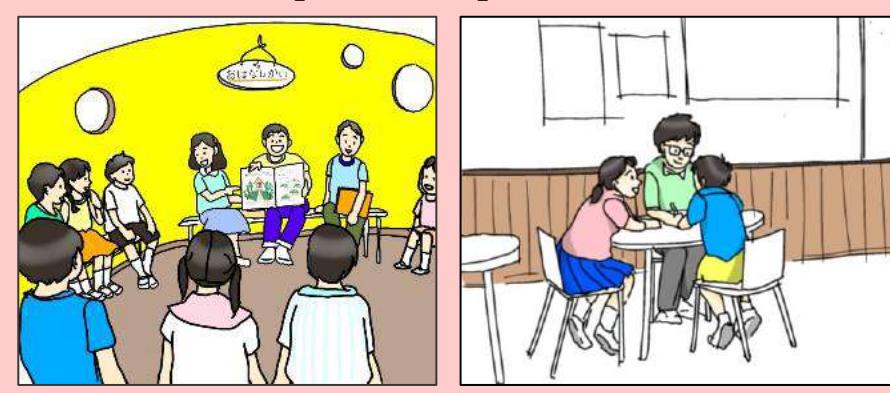


## ●共に学び交流を深める

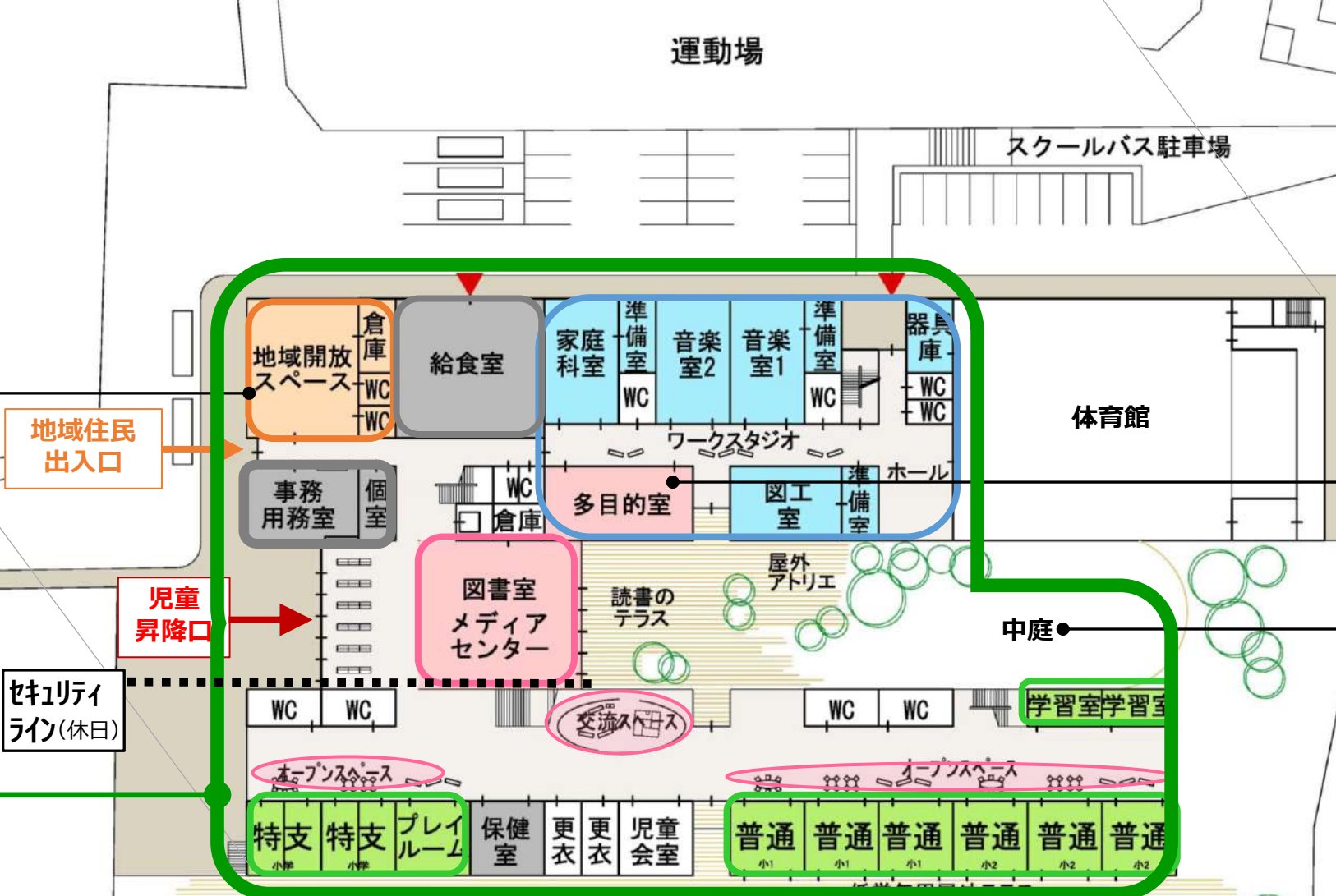
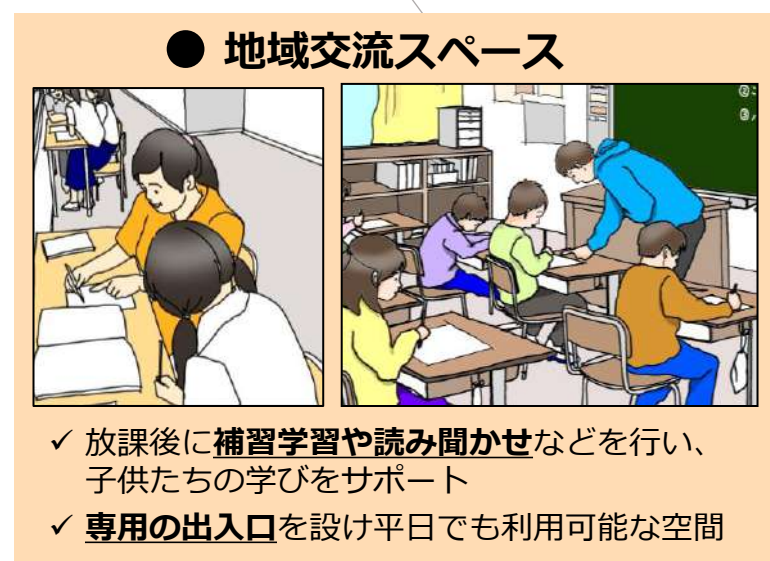


2階平面図

## ●学年を超えた[つながり]をつくる交流スペース



## ●新しい学習スタイル



1階平面図

## ●多目的室での活動

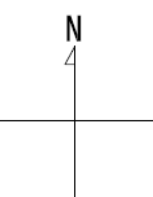


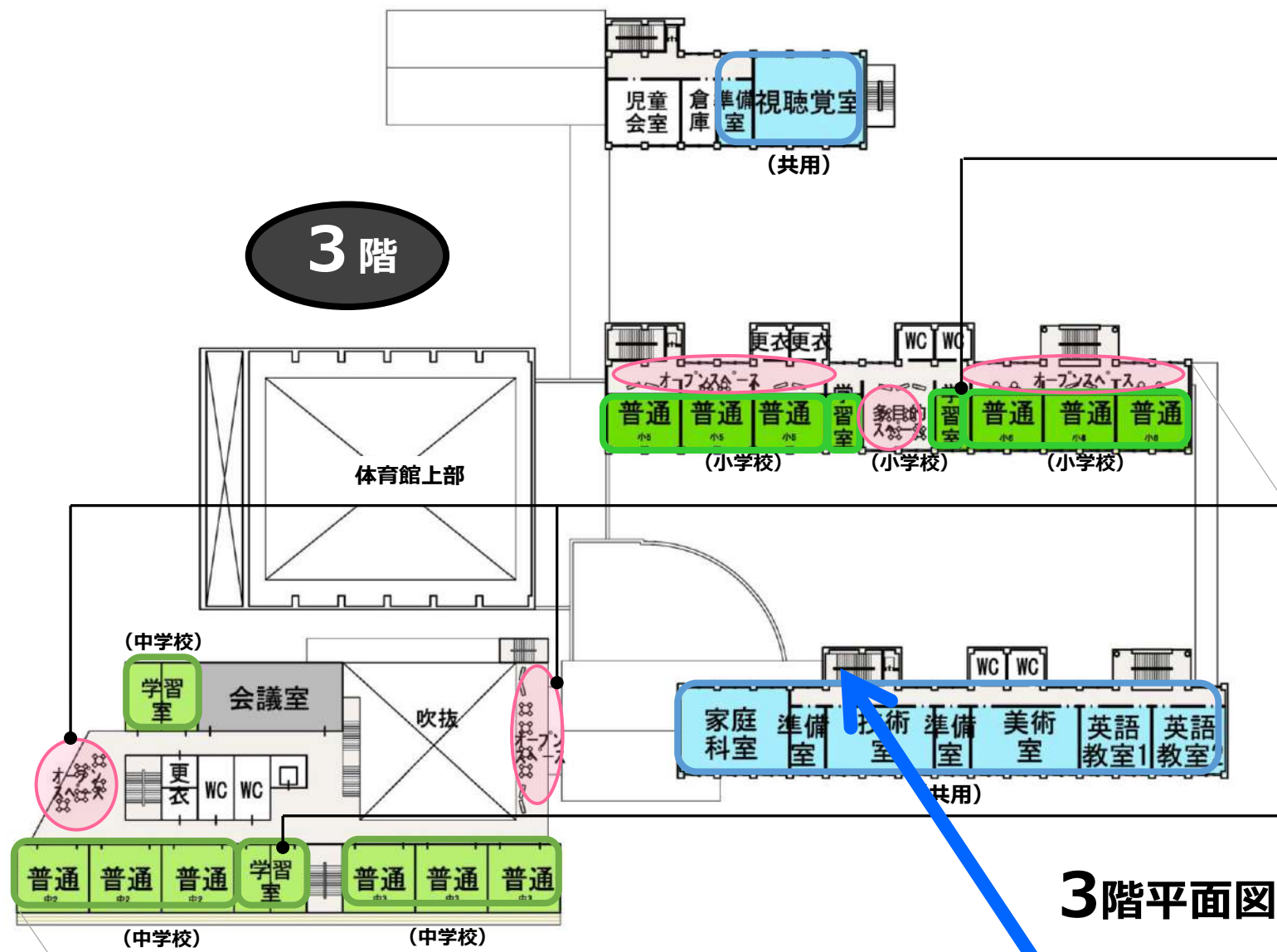
## ●読書のテラス・中庭



凡例


- 普通教室
- 交流スペース
- 特別教室
- 新しい学習スタイル
- 地域開放スペース
- 管理諸室





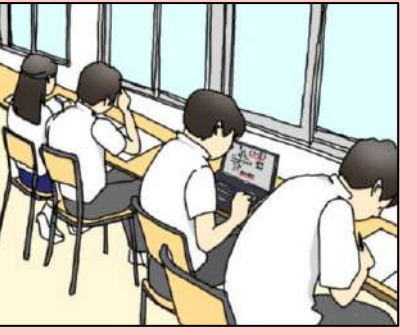
3階平面図

**● 共に学び交流を深める**



- ✓ 中学生による読み聞かせを実施
- ✓ 学習を通して交流を深める

**● オープンスペースで自学自習**



- ✓ 休憩や読書、自学自習などを、自由に活用できる空間

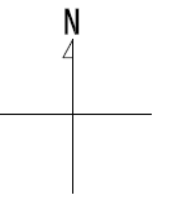
**● ボランティアによる学習サポート**



- ✓ 放課後に学習室を利用して、地域ボランティアが子どもの学習をサポート

凡例

■ (Green)	: 普通教室
■ (Yellow)	: 交流スペース
■ (Blue)	: 特別教室
■ (Pink)	: 新しい学習スタイル
■ (Orange)	: 地域開放スペース
■ (Grey)	: 管理諸室



**2階を拠点にして  
さまざまな交流  
が生まれる**

● 学年を超えた交流



✓ 交流スペースで学年を超えたつながりをつくる

● 小学生と中学生の交流



✓ 小学生と中学生が交流するラウンジ  
✓ 小中一貫としての学年を超えた交流が常に行える

● 生徒と教員の交流

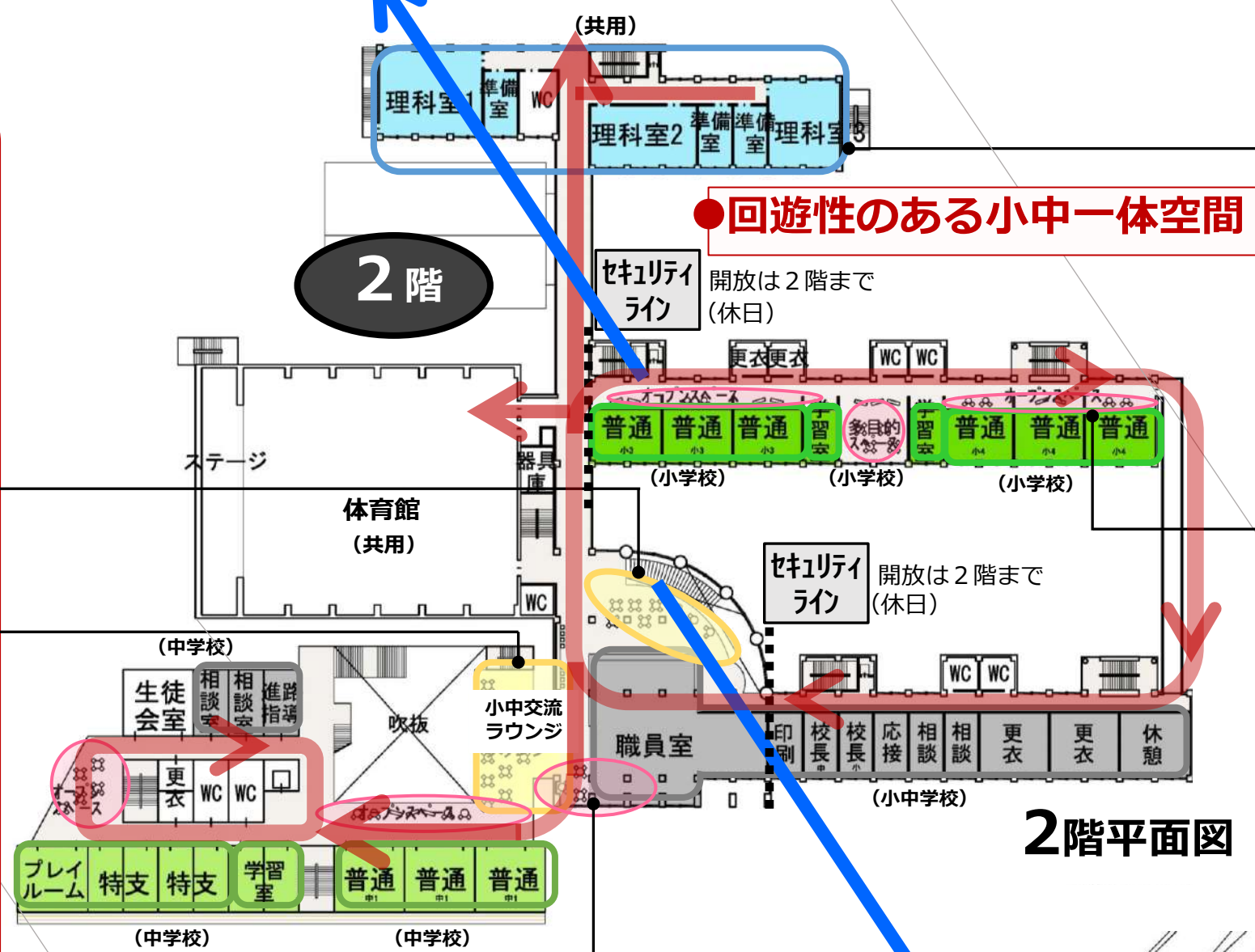


✓ いつでも教員に相談できるスペース

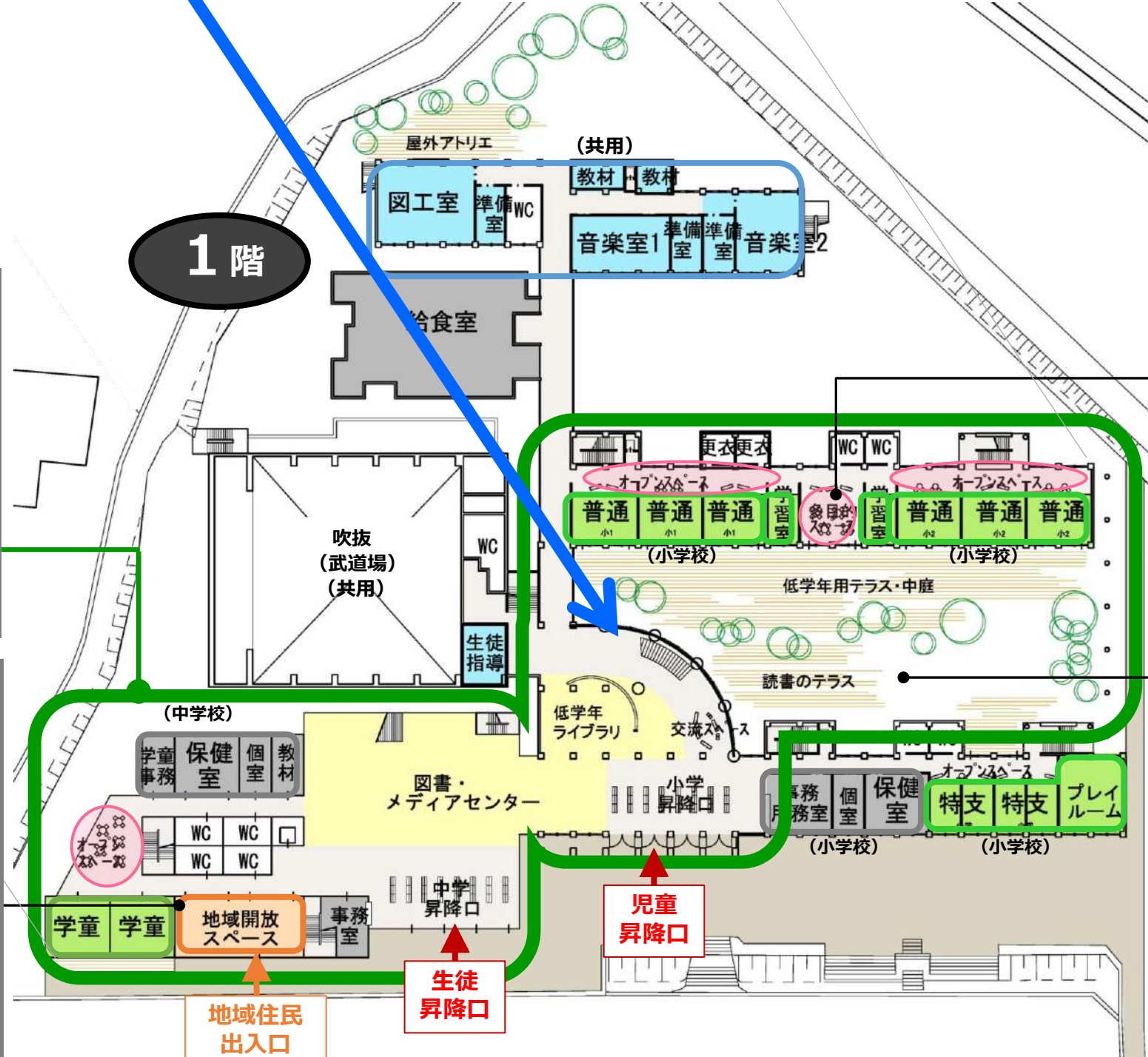
● 小中教職員の交流



✓ カリキュラムマネジメント等を話し合う打合スペースを整備し、職員室で小中教職員の交流・連携が生まれる



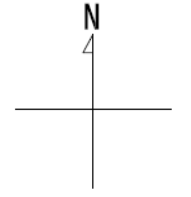
2階平面図



1階平面図

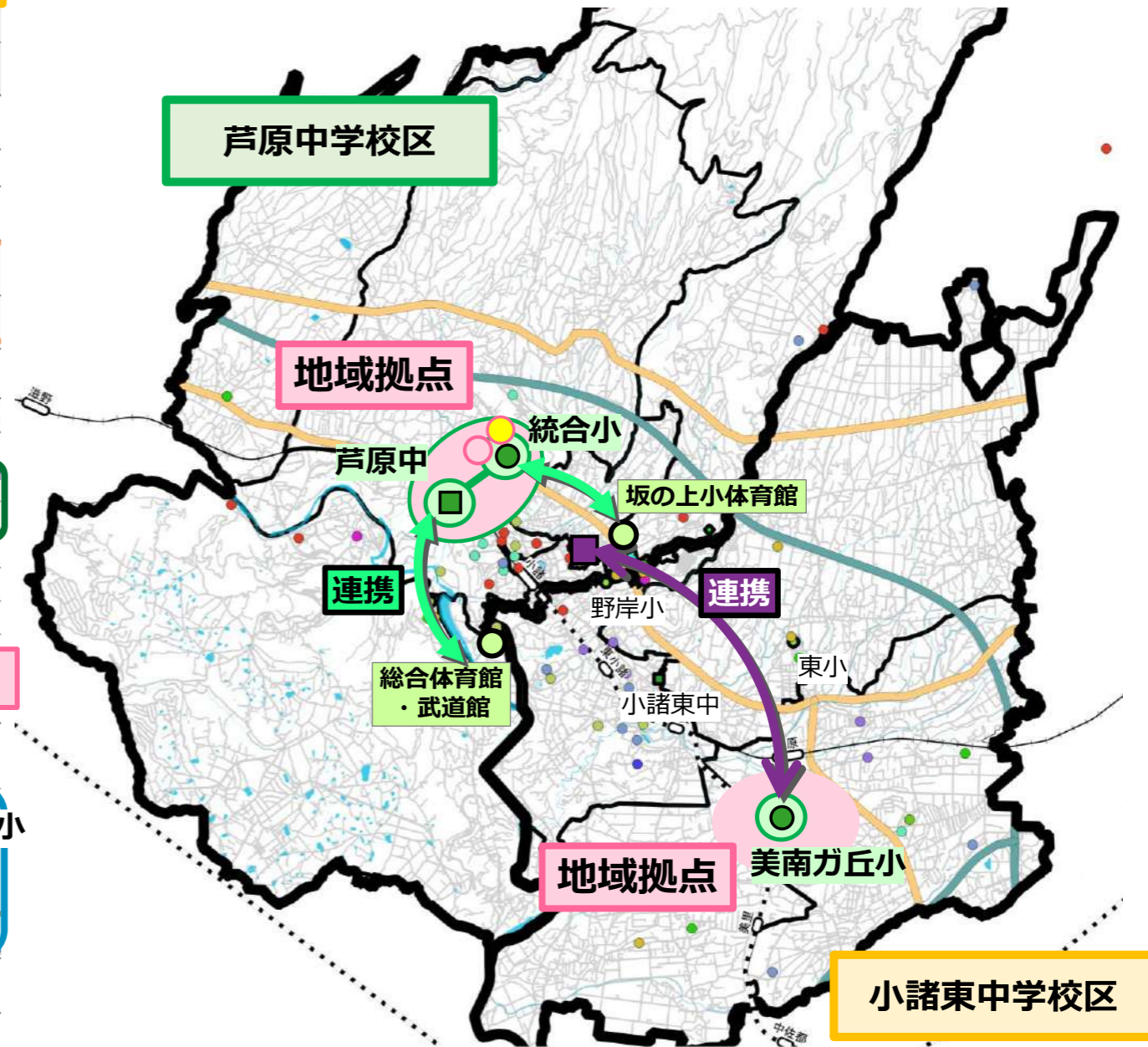
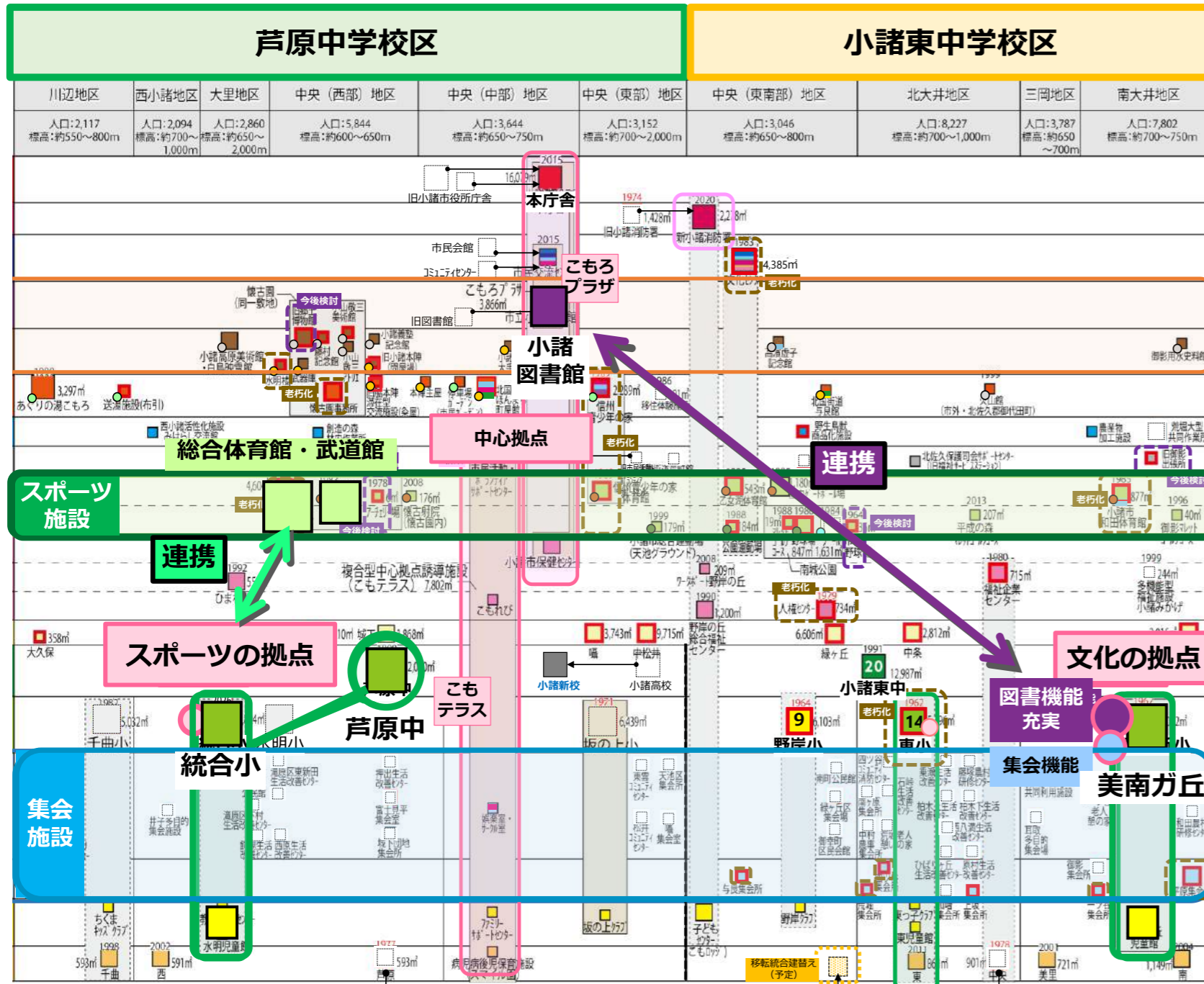
凡例

■ (Green)	: 普通教室
■ (Yellow)	: 交流スペース
■ (Blue)	: 特別教室
■ (Pink)	: 新しい学習スタイル
■ (Orange)	: 地域開放スペース
■ (Grey)	: 管理諸室



<地域実態マップ>

<地図>



2つの中学校区で、**地域拠点機能** に特色を出しながら整備する



